

シーガルネット あれこれ

< 40年の歩み > (1981年～2020年)

S e a g u l l



JH8XIZ (原田栄子) 宅

編集 2020年8月



投稿記事 シーガルネットあれこれ ＜４０年の歩み＞

目 次

はじめに	- 2 -
シーガルネットあれこれ	- 3 -
No.1 開局した頃	- 3 -
No.2 シーガル号との出会いと別れ	- 4 -
No.3 北海道の記憶に残るヨット	- 6 -
No.4 「空白期間」 あれこれ	- 8 -
No.5 シーガルネットのそれから	- 10 -
No.6 シーガルネット１５周年の集い	- 12 -
No.7 シーガルネット２０周年の集い	- 15 -
No.8 シーガルネット３０周年の集い	- 18 -
No.9 シーガルネット５代目のコントローラー	- 20 -
No.10 海外からのサポート	- 21 -
No.11 シーガルネット３５年の集いの準備	- 24 -
No.12 シーガルネット３５年の集い	- 26 -
No.13 ３５年の集いを終えて	- 30 -
No.14 ３５年記念祝賀会に参加された長距離航海のヨット	- 32 -
No.15 メンバー オブ スネターズ	- 34 -
No.16 ５代目コントローラーとしての記録（２００９～２０１４）	- 36 -
No.17 ５代目コントローラーとしての記録（２０１５ ～ ）	- 39 -
No.18 私の記憶に残るヨット（追加分）	- 42 -
No.19 アマチュア無線とヨット	- 46 -
No.20 あとがき	- 48 -

※ 閲覧したい目次行上にマウスを置きクリックすると、そのページにジャンプします。

[＜ホームページへ戻る＞](#)

はじめに

MM サポートネット各局 様

202/02/10 JH8XIZ 原田 栄子
jh8xixiz@gmail.com

北の地、北見より今年初めてのご挨拶をお送り致します。
皆様如何お過ごしでしたか？ 北見は雪のないクリスマス、お正月を過ごしましたが 1 月末になり、やっと少しまとまった雪が降って例年のような雪景色の中で日々を過ごしております。昨日などは朝の気温が-20 度を超えました。

昨年、大きなめまいを起こしましたが、その瞬間人生の終わりは突然に来ることもあり得ると感じました。原因は耳の中の平衡感覚を司る箇所の変えです。幸い医師の処方した薬で落ち着いていますが人生の終わりを意識しなければならない年代に入っていることを感じました。

オケラネットについては、その始まりなどについて小谷さん (JA1TKA) がホームページで説明しておりますが、シーガルネットについてはそのような機会、場面が全くありませんでした。
私の記憶力、集中力、情報収集の繋がり等がしっかりしている内に、きちんとその流れについてお伝えしたく、オケラネットのホームページを管理されている沼田さん (JA1IDQ) をお願いしたところ快くお引き受け下さいました。又、パソコンについては、小谷さん、実際のパソコンの操作については身近に居る夫、(JH8XIX) にアドバイスをお願いすることにしました。

40 年前からのネットです。当時の航海の様子、活躍していた沢山のヨット、オケラネットとの繋がり、話はいろいろな方向に広がっていくと思います。勿論その頃の無線の状況に付いてもお話ししたいと思います。

素人の綴る文章です。理解しづらい表現もあるかと思いますがお許し下さい。

最初に初代のコントローラー笠井さん (JH8AHU) が整理した事項を挙げておきます。

シーガル号の歩み

- * 1980, 6, 22 ~ 1981, 5, 24
野村艇長 (JH8IZH) を含め 4 人のクルーによる太平洋 1 周航海
- * 1984, 7, 8 ~ 1988, 9, 7
野村さん一家による世界 1 周ブラジル沖で座礁、航海断念
- * 1997, 6, 1 ~ 2000, 7, 16
野村艇長シーガル号 世界 1 周向け、室蘭エンルムマリーナ出航 3 年 1 ヶ月の航海
公募で総勢 71 名の方が代わる代わる参加
- * 2008, 12, 30 ~ 2012, 7, 1
浦瀧艇長 (JK8LCV) による世界 1 周航海 室蘭エンルムマリーナ 7 出航 小樽祝津へ帰港

シーガルネット記念式典

15 周年記念式典	1995, 9, 16 ~ 17	札幌市 茨戸 ホテル、テルメ
20 周年記念式典	2000, 9, 15 ~ 16	札幌市 定山溪温泉 ゆらら
30 周年記念式典	2009, 7, 24 ~ 25	小樽 パークホテル
35 周年記念式典	2014, 6, 21 ~ 22	小樽 ホテル、グランドパーク小樽

[< 戻る >](#)

シーガルネット あれこれ

No. 1 開局した頃

私達が無線に出だした頃は、お空のコンディション、無線熱はピークだった頃と思います。アマチュア無線をやっていることは特殊な種族に属しているような高揚感、仲間意識があり初対面でも皆お友達という感じでした。

車のリヤウインドウに自分のコールサインを貼り付けて運転する人、グループでお揃いのジャンパーや帽子に、それぞれのコールサインを入れて着用する人、何でもやってみたい私ですので、白いトレーナーにダークグレーの刺繍糸で自分のコールサインを入れ愛用していました。どうも、さげなく自己主張をしたかったようです。

遠出をした時に渋滞にぶつかるとうとう144MHzで「CQ、ルート案内をお願いします。」とコールすると、次々とローカルの局の方々が出てきて近道を教えて下さいました。お茶を勧めて下さったり、取れたての野菜のお土産を頂いたり、退屈しないドライブでした。

無線の最盛期は無線人口が多く無線機器も良く売れたようです。機器のメーカーが、時折独自のコンテストを行い、条件を満たすといろいろなプレゼントをして下さいました。コールサイン入りのタグ、スケール、一番気に入ったのはケンウッド社から頂いたコールサイン入りのワッペンでした。海外に出かける時、このワッペンを縫い付けたジャンパーを着用していました。

話は戻ります。開局してから1ヶ月目当たりからHF帯にも声を出すようになりました。無線の免許を取得する時、工学、法規についてはしっかり教えられましたが、実際に運用するに当たり交信の手順、マナーなどについては全く知らないでのオンエアです。失礼なことも多々あったようです。

CQを出している方に声を掛け、交信が終わった途端、沢山の方が私の方をコールして下さい、困ったと思いながら、そのままその周波数を使ってしまったり、本来ならCQを出した方に一言ご挨拶すべきなのですが・・・・又、お断りする事がマナーに反しているようで中々切り上げが出来ませんでした。夜、7MHzなどに出るとパイルアップになり、切り上げのタイミングがつかめず、コンディションの変わる朝の4時頃まで眠い目をこすりながら頑張っていた事も有りました。QSLカードに相手の住所を書かなければとコールブックで探したりと・・・・JARLへの転送などにも苦労をしました。

HF帯に出だしてまだ2ヶ月目という状態の1981年1月7日シーガル号、スネターズグループと出会いました。

この後、シーガル号とそのネットについて詳しくお話させて頂きたいと思います。

[<戻る>](#)

No. 2 シーガル号との出会いと別れ

シーガル号との出会いは1981年（昭和56年）1月7日でした。

この頃 JARL 主催の1月2日～1月3日に掛けて行われるニューイヤーQSOパーティが盛んでローカルのほとんどの方達が参加していました。期間中に20局交信して申請するとその年の干支のシールを1枚頂けるというシステムでした。お空はすごく賑やかでしたよ。

開局して2ヶ月目、私も張り切って参加しました。たまたまコンタクト頂いた紋別市役所勤務の局長さんからシーガル号の情報を頂きました。シーガル号の艇長の野村さんが札幌の市役所勤務と言う事も有って全道の市役所で無線をやっている方々にこの情報が流れたようです。感想としてはきまったメンバーで構成され部外者は一寸声を掛けにくい雰囲気とのことでした。

盆地に住んでいる私にとってヨットの実物を見たことはありません、しかも南太平洋を航海中・・・電波が世界に飛んでいくなど信じられない時でしたので強く惹かれました。早速教えられた時刻にその周波数をワッチしました。この頃は21.390MHZを使っていました。

よほどコンディションが良かったのでしょうか。1月なのにサポートしている札幌のスネターズグループ、南太平洋のシーガル号、共に良く入感していました。初代のコントローラーの笠井さん（JH8AHU）がヨットのクルーもサポート局も男性ばかりなので雰囲気的面でも女性の参加は大歓迎ですとお誘いを受けました。

楽しいネットでした。皆、仲間内という雰囲気で会話は弾みました。不慣れな私ですので盛り上がりすぎると中々ブレイクのタイミングがつかめません。コントローラーが気を利かせてコールして下さらないときは7時から待機していたにも関わらず一声も出さず、すごすごと終わってしまうこともありました。

トンガの王様の話、シャワー代わりのスコール、とれた魚の調理、夜に掛かった進行方向の白い虹　まるでタイムトンネルに向かって進んでいるような気分だったとか・・・満天の星空の下、ラジカセで聴くニニロソのトランペットの音楽（星空のブルース）も素晴らしかったとか・・・クルーの方々は日本のニュースを知りたがっていました。相撲は誰が優勝したとか、野球はどのチームが活躍しているとか・・・インターネットなど無いアナログの時代でした。

楽しい時間もあっという間に終わりを迎えました。

明日はホームポート小樽に入港という前日、1981年5月23日最後の交信でファイナルメッセージを送りました。「クルーの皆さんお疲れ様でした。楽しい時間に感謝しております。今後のご活躍をお祈り致します。」それに対し艇長の野村さんから「クルーを代表して長い航海中、心の安らぐ一時、有り難う御座いました。」と丁寧なお礼の言葉を頂きました。

その直後です。テレビ局から電話が入り「感動的な別れの挨拶だったので録音しましたがテレビの方で使っても宜しいですか？」と言う問い合わせでした。

その夜のニュースで悪天候の中、ヨットが斜めになりながら津軽海峡を横断する画像のバックに名残を惜しむ別れの挨拶が流れた時、感動と共に、終わりの寂しさを感じました。ネットでは楽しい話ばかりを聞かされていたのですが、船尾で強風にあおられている半分ちぎれた国旗を見た時、長い航海とそこのご苦労が偲ばれました。

翌日の5月24日小樽の港にはシーガル号の無事帰国を祝って沢山の人達が集まったようです。当時の新聞の切り抜きを見ますと約500人位の人達だったとか・・・

後から聞いた話ですが、クルーの中にはサプライズで耳に馴染んだ声の持ち主が港に現れるのではないかと密かな期待を抱いていたそうです。

私はと言うと、翌日からノイズしか聞こえない周波数に溜息をついて、もう絶対終わりのあるものを追いかけるのは止めようと心に誓いました。まるで楽しいお祭りの後、気が付いたら誰も居なくなった広場にたった一人取り残されたような気分でした。

この時のクルー、スネターズの方々とお会いしたのはそれから14年の歳月が流れたシーガルネット15周年を祝う集いの時でした。感激の対面であったことは言うまでもありません。

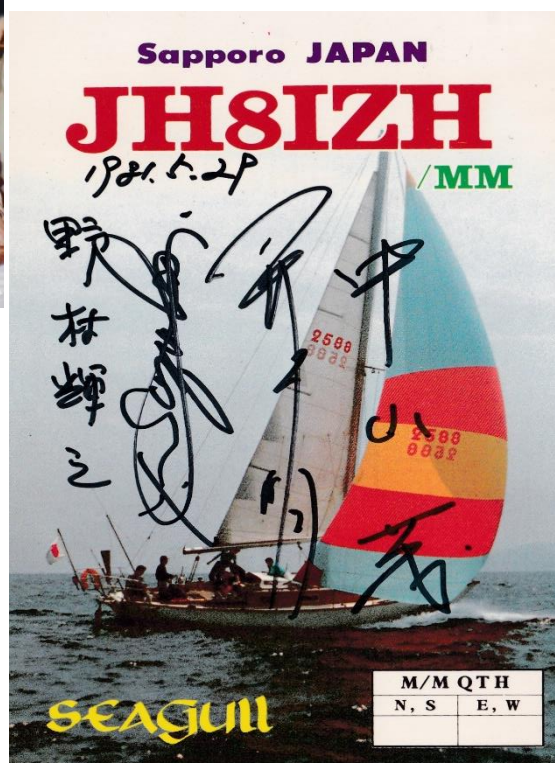
シーガルネット15周年記念祝賀会にて



当時のクルーの方々

左から 井上 明さん、野村輝之さん、
遠慮がちの方 森本さん（出航準備に関わった方）
原田栄子、中山 茂さん

シーガル号とクルーの方のサイン



次回は北海道の記憶に残るヨットの話です。

[< 戻る >](#)

No. 3 北海道の記憶に残るヨット

(シーガル号=野村艇長、リサ号=大瀧艇長、シーガル号=浦瀧艇長)

野村さんの**シーガル号**は大変注目を集めたヨットでした。北の地、北海道から初めて長距離航海(太平洋一周)に挑戦し、しかも札幌の姉妹都市、アメリカのポートランド市に親書を届ける公的な使命も併せての航海でしたので、北海道新聞社、テレビ局、札幌市・・・沢山の機関がその後押しをしました。新聞の方では連載の形でその航海の様子をたびたび掲載し、テレビでは何度か航海の情報が放映されました。

手元には茶色に変色したその頃の新聞記事の切り抜きが沢山保存されています。



神奈川県茅ヶ崎で自分たちの力で5年がかりで組み立てた手作りのコンクリート製のヨットであること、(6人共同所有)、帆は予備も含め11枚用意、帆に記された、数字(2588)は日本外洋帆走協会の登録番号だそうです。

特筆すべき事は人工衛星を使わず昔ながらの天測で位置を測定したことです。六分儀で太陽やよく知られる星の水平線からの角度を測り計算する方法を使つての航海でした。

インターネットも無く、衛星電話も無い時代でしたので航海中の唯一の通信手段はアマチュア無線だったようです。

次に北海道から大きな挑戦をしたヨット **リサ号**について。

単独、無寄港、世界一周の目標を立てての航海でした。名前は大瀧健一さん・・・30年来の夢を追い求めて、295日、54,000Kmの航海を続けました。平成13年(2001)9月24日、小樽を出港し順調な航海を続けました。でも、来る日も、来る日も、広い海原の中たった1人での航海は精神的に大変だったようです。

赤道を越えてからは念願のサザンクロスを見、獅子座流星群も遮る物のない最高のロケーションで見ることができ、LISA号から見た流星群は東の空で次から次へと四方八方からビュンビュンと飛び交い、星に掛ける願いも最後は思いつかなかったそうです。それほど沢山の流星を見たのですね。遠くから聞こえてくる鯨の鳴き声に耳を澄ませたり、50～60頭のイルカの大群が寄ってきてLISA号と戯れたり、海鳥が暫しマストで羽根を休めたり・・・沢山の命の息吹を感じ取った一時でもあったとか・・・

赤道無風帯では風がない上、熱さで機械関係が結構ダメージを受け、その都度アドバイスを受けながら細かな修理に専念し、その後、吠える40度帯と言われる南緯40度から50度の暴風域に入りました。ここは昔から多くの船乗りから恐れられ敬遠されてきた難所です。



1月3日その難所を通過中、ブエノスアイレスを通過し、ビーグル海峡を通過中のヨット、オーロラの森脇さんの声が強力に飛び込んできて、久しぶりの日本語の会話に勇気づけられたそうです。

1月10日様々な困難の中無事ホーン岬を通過することが出来ましたが1月22日、L I S A号は氷山と衝突してしまいました。深い霧と夜の闇の中、気が付くと、L I S A号は冰山群に囲まれていました。

その後、無事脱出は出来たが、マストに大きなダメージを受け、やむなく南アフリカのケープタウンに立ち寄り破損箇所の修理をしました。その後も航海を続け平成16年(2002)7月14日無事小樽の港に戻る事が出来ました。当初の目的の一つ無寄港は叶わなかったけれど、ホーン岬を交わしての世界一周は北海道ではリサ号のみだと思います。大きな挑戦をなさいましたね。お疲れ様でした。

舵社から発行されたL I S A号の航海記「海のレゾナンス」大変興味深く読ませて頂きました。

続いて長い時間を掛けて世界一周した**シーガル号** 浦瀧富士幸さんに付いて。

浦瀧艇長のシーガル号は平成20年(2008)12月30日に室蘭港を出港、その後オーストラリア、アフリカ、南米、南太平洋を3年半あまり掛けての航海でした。浦瀧さんのコメントの中に「何よりもエネルギーを使ったのは航海よりも会社を辞めることだった」と話されています。その後の人生を考えると大きな決断だったでしょうね。



浦瀧さんにとってシーガルネット、オケラネットは唯一日本語で会話できる心安らぐ一時であったと話されています。その頃のシーガルネットのコントローラーは西村さん(JH8FKO)でしたが一時期、シーガルネットはチェックインの局が少なくなり先細りの感がありました。

西村さんが口にしていた言葉は「シーガルという看板を背負って航海を続けている浦瀧さんが帰港するまで何としてもシーガルネットを持ちこたえたい。」と話されていました。

浦瀧さんが小樽に戻ったのは平成24年(2012)7月1日・・・西村さんは帰港を待たずしてお亡くなりになりました。心残りだったと思います。

浦瀧さんとの会話中で、航海中出会った不思議な現象として、ある日の外国の港での夕方、一瞬、港も、船もグリーンに染まったと言う事です。カメラに納める間がない短い瞬間だったとか・・・

長いこと疑問に思っていたがある時テレビを見ていましたら(グリーン・フラッシュ)という言葉が出てきました。海原に太陽が沈む時一瞬緑色に染まることがあるとか・・・ごく稀な現象のようです。疑問の解けた瞬間でした。

次回は又、シーガルネットの続きの話に戻ります。

[<戻る>](#)

No. 4 「空白期間」 あれこれ

野村さんの帰港された日（1981, 5, 24）からシーガルネット15周年の集い（1995, 9, 16）まで、シーガルネットは終わったものと思い込んでいた私はこの周波数を覗いて見たことがありませんでした。それでも、この間、無線で沢山の方達と繋がり、又、自分自身のスキルアップの為いろいろな事にトライしました。

- * シーガル号と兄弟のヨットパミス号 沢山の父島の方と繋がる。勿論 JD1BBH 山田和子さんとも・・・
- * この流れで375ネットが出来上がる。（さながら離島ネット）
- * 「巴流」号 内海さんの依頼で WFG ネットに参加、この時のコントローラーは後に請われてオケラネットのコントローラーになる。
- * 強いパワーを出して外国との交信をしたく2アマに挑戦。
- * もしかしたら私も出来る？ 英語を話す人達が格好良く思えて・・・ 英語の勉強も・・・

空白期間が終わった後も

- * オケラネットの手伝い。
- * 日本ユニセフ HAM クラブに所属、バングラデシュやネパール訪問。
- * 蜃気楼のようなネット

一つ一つが大変面白い出来事です。

でも、これについて先に述べると、シーガルネットの歴史から外れ、ゴチャゴチャになりそうなので、先に2代目コントローラー、3代目コントローラー、4代目コントローラーの時代のシーガルネットについてお話しします。

15周年以後のシーガルネットには月3～4回のペースで参加しました。コントローラーではないのでメモを取らず・・・ほとんど記憶にありません。幸いにして、初代のコントローラー笠井さん(JH8AHU)に色々とお尋ねしたら、きちんと整理された資料が送られてきました。

又、15周年の集い、20周年の集い、30周年の集いに参加しているので、それぞれの記念誌にコントローラーがまとめたその時々のネットの様子が記載されています。これは下手に私がいじるよりはそのままコピーして添付する方が良いかと思いましたが、記念の集合写真と共に掲載するように沼田さんにお願ひしました。15周年、20周年の集いの集合写真にはそれぞれの名前が記載されていないので、私の方でも半分くらいしか名前が分かりません。

次回は前段に並べた出来事の説明をした後、何故、私が5代目のコントローラーを引き受けたかの説明をしたいと思います。

JD1BBH 和子さんとは古いお付き合いです。シーガルネット15周年の集いの時、我が家に泊まり道東のドライブを楽しみました。その後、揃ってシーガルネットの集いに参加しました。運転は勿論、夫です。私はペーパードライバーのままで終わってしまいました。

25年前の2人です



[<戻る>](#)

No. 5 シーガルネットのそれから

最初のシーガルネットは野村さんのシーガル号のみ、サポート局も最初はいろいろな分野からの参加もあったと思いますが、私がお仲間に入れて頂いた頃はスネターズグループのみの外部に向かっては閉ざされたこじんまりしたネットのスタイルでした。シーガル号が帰港した段階でこのシーガルネットは一時期 QRT 状態になります。(1881 年)

シーガルネットが再び活動を開始したのは 野村さん一家を乗せた「シーガル号」が世界一周に向け出港した時に始まります (1984、7、8)、その後、「ロデオ」花泉さん (JE8GMK)、「アンタレス」上田さん (JA8PAN)、が太平洋向け、「アヤⅢ」九津見さん (JF8HSZ) がハワイから日本向けの航海を開始・・・ その他、何艇かのヨットが参加するようになりました。それぞれのヨットにそれぞれのサポート局が参加したのでネットの中はかなり混み合ったものと思われます。記録の上では 2 代目コントローラーは熊谷正雄さん (JE8JGV) となっております。

その後、この頃参加していた陸上局が集まり相談した結果 3 代目のコントローラーとして九津見さん (JE8UAN)、サブコンとローラーとして西村さん (JH8FKO) をお願いする展開になったそうです。

それぞれのコントローラーのプロフィールをご紹介します。

*** 2 代目コントローラー 熊谷 正雄さん (JE8JGV)**

この頃、私は全くシーガルネットに参加しておりませんので申し訳ありませんが熊谷さんに付いての資料を持ち合わせておりません。

*** 3 代目コントローラー 九津見 学さん (JE8UAN)**

岩見沢在住の歯科医さんでした。お仕事柄、皆さん敬意を込め、九津見先生と呼びしていました。温厚な人柄で、どなたにも平等に接し、何時もきちんとした言葉使いでお話しされる方でした。

あれは何時からでしょう？ MM ネットに参加する時、一つのパスワードのように、必ずその地域ウェザー情報を送ります。(天候、気温、湿度、気圧・・・)

私の方も大きな気圧計を二つも買い求めました。時刻、温度、気圧、湿度などが読み取れます。

でも、これは室内用なので正確とは言えません。テキサスのトクヨさんから室外用の温度計をプレゼントされましたが、これも日向、日陰で大きく違います。仕方が無いので自分で勝手に足し算したり、引き算したりして北見の温度を伝えました。正確であるはずがありません。九津見先生は大笑いをされ「大変違うような気がしますよ。」とおっしゃって、それからは北見の分も調べて下さいました。

今では NHK の天気情報を見れば良いことが分かり自信を持って伝えることが出来ます。

九津見先生がコントローラーの時シーガルネットの 15 周年の集い、20 周年の集いが行われその会長を務められました。

昨年 (2019 年 6 月 29 日) お亡くなりになった知らせを受け取りましたが、現在のメンバーはほとんど入れ替わっているので、スネターズのメンバー 5 人と私で供花を送らせて頂きシーガルネットオケラネットの名で弔電を打たせて頂きました。

* 4代目コントローラー 西村直幸さん (JH8FKO)

九津見先生がサポートネットに関わるようになった、弟さん「アヤⅢ」九津見侃さ(JF8HSZ)がお亡くなりになった事から、コントローラーのポジションを退かれた(2005, 9, 28)とのことでした。

久津見先生、西村さん、常に2人でコンビを組んでのネット運用だったのでその引き継ぎはなくスムーズに行われました。

西村さんはブラインドハムで大変頭の回転の速い方でした。私などはメモを取らないとスムーズに話せませんが、西村さんは見えないはずなのに難なくこなしていました。多分、奥様の恵美子さん(JH8DGE)が常に側でサポートされていたものと思われます。西村さんのコントローラーの時、シーガルネットの30年の集いが開催されました。(2009, 7, 24)

その時久しぶりにお会いしたのですが、西村さんのあまりの痩せように、どこかお悪いのではないかと心配しておりました。その後、まもなく倒れて入院されたと伺い、励ましの意味も込めて毎朝のシーガルネットの様子をFAXでお送りしましたが、それからまもなくお亡くなりになりました。

西村さんの御意志でしょうか・・・新聞のお悔やみ欄にも載せず、ネットの方に亡くなった知らせ届いたのはそれから1週間ほど後のことです。供花、弔電などを差し上げるチャンスを逸してしまい残念に思われます。長い間のお世話になり有難うございました。



左側から (敬称略)

JH8BIB	森 政明
JH8AHU	笠井 義照
JH8XIZ	原田 栄子
JA8KLG	山崎 信行
JH8XIX	原田 重美
JE8UAN	九津見 学

左側から (敬称略)

VK3BRB	RAY
VK3BKB	JOAN
JH8FKO	西村 直幸
JH8DGE	西村恵美子

[<戻る>](#)



No. 6 シーガルネット15周年の集い

「シーガルネット 15 周年を迎えて」 実行委員会々長 九津見 学 JE8UAN

アマチュア無線の仲間と海の仲間による“シーガルネット”が発足して 15 周年を迎えて、本日ささやかながら記念の式典、及び皆様からのご協力により、小冊子の発行が出来る事になり誠に慶賀に堪えない次第であります。

長いようで短いこの 15 年間ネット設立の経緯について、また、これまでの期間交信に係わった方々の紹介をしたいと思います。

ネットの活動については大体次の三つの時期に分ける事が出来ると思います。

◇第一期：1980 年 6 月 22 日に野村輝之氏を艇長とする道産子クルー4 人乗りのヨット・シーガル号が太平洋一周の大航海の為、小樽港を出港して 1981 年 5 月 24 日全員が元気に帰国するまでの間シーガル号と基地局との連絡係として発足した 11 ヶ月間であります。

◇第二期；1984 年 7 月 8 日にシーガル号が一家揃って世界一周の航海に出掛ける。また、86 年 9 月ヨット・ロデオの花泉氏、アンタレスの上田氏が南太平洋の航海に出掛け、その後を追うようにしてハワイからアヤⅢの九津見氏が南太平洋を一周して 90 年 9 月に小樽港に帰港するまでの期間。この期間には色々な事がありました。1987 年 9 月 7 日シーガル号は南緯 22° 08' 西経 41° 10' の、リオデジャネイロ州の海岸に座礁し、志し半ばにして船体放棄することとなった。不幸中の幸で御家族の皆様は全員無事、小樽港を出て 4 年 2 ヶ月、80,400 キロの大航海でした。

素晴らしい事もありました。1987 年 7 月 23 日午前 8 時 5 分、北緯 25° 08' 東経 149° 12' 父島付近でオーストラリアから帰国途中のヨット・ロデオの花泉氏とサンフランシスコから帰国途中の堀江謙一氏の乗った船長僅か 2.8m の世界一小さなヨット・マーメイド号とが、日本中の MM ネットの皆様の見守るなか見事にドッキングして心からの祝福を受けた事でした。この間、シーガル号のサポートは JA8KLG 山崎氏、JH8AHU 笠井氏、JE8JGV 熊谷氏がそれぞれ中心となり、海上、陸上局の協力を得て大任を果たされました。この間コンタクトした主なヨットは JE8GMK ロデオ、JA8PAN アンタレス、JF8HSZ アヤⅢ、JD1BEB チホ、JR1MON ワイノット、その他多数

◇第三期:1990 年～現在まで

(1)日本周辺を航海するヨットとのコンタクト JF8VOQ ペンギン、JF2MTH ベリタスプラス JF1AUM どんたく、JE2KMI フライグ、JF2HPT ラーⅡ世ポコ、裸裸、オンデース、ロータス、はやどりラーⅢ世、コンドル 83、J03SUS(エオリア)・・・・・・その他

(2)南太平洋方面

J03CPS キョウワハイビスカス、JK2IHU 平成号 J G3IKV みよし丸、JQ2MVY 翔陽
JA1QYCヤマト、JJ1SDTスピリットオブユーコー、YJ8KMヨット北斗
JL1IYY青葉Ⅵ・ラッキーレディ、JS6HYMシザナ・・・・・・その他

(3)南太平洋方面

JR3JJEマーメイド、JEONAAコスモス、J18IESリサ、HB8LEEレディーリー
VEOMCHインカンテーション、JJ6PPT海連垂乳根、J01INJセカンドグランス
JN6SLQ健康丸、7N3NXOヨソト禅・・・・・・・・その他

(4)世界一周

JQ1EBE海潮音、JE7FEH青海号、JM2UANボヘミアン、7L1VIH垂乳根
JL1UQBエープリフォース、JG5ETLホロホロ、WP4LDNオイチョ

(5)無寄港世界一周

JJ6PPT海連垂乳根、JJ1SDTスピリットオブユーコー、JI4USF欧米Ⅱ世
JH6RBWエミタン・・・・・・・・その他

(6)国外のシーガルメンバー

VK3BJB(Mrs. Joan Mildura オーストラリア)、VK2JAL(Mr. 石崎 シドニー)
VK4BSQ(Mrs. ウエンディ オーストラリア)、KF5TF(Mrs. とくよ テキサス)
YJ8KM(Mr. 武田 バヌアツ・ポートビラ)・・・・・・・・その他

(7)海上からの中継局

J03CPS(初田)、JH9ICS(田中)、JN6IGJ(鮫島)JG3IKV(武藤)、JQ2MVY(加藤)、JJ6HCF(式田)

【国内のシーガルメンバー】

JM1XBI(猿見田) JA1TKA(小谷) JH1XAK(貞方) 7N3NVT(白石) JQ10VA(川口) JP1LYV(米川)
JJ1SDT(白石) JE2KMI(水野) JM2UAN(渡辺) JL3RPK(吉田) JF3FRR(太田) JP3UI0(宮田)
J03CPS(初田) JA4AKQ(齋尾) JK4IZB(西沢) JK4UDQ(西沢) JK4FRX(藤本) JA4CZL(美馬)
JF5SXR(川野) JA6UCB(今井) JK6HUB(矢野) JG6KZG(北) JR6HJX(宮原) JK6LOU(谷口)
JJ6ATW(山下) JA6GBB(小牟田) JR6WNL(土居) JN6SLQ(桑水流) JM6BBK(中村) 7L1VIH(宮内)
JH7GPT(鈴木) JE0XFU(小山) JA0TVW(別府) JF0KPE(関谷) JH8NCO(松原) JA8CUP(尾崎)
JH8AHU(笠井) JH8AGD(五十嵐) JH8BIB(森) JH8LDX(伊藤) JA8KLG(山崎) JA8WBX(関根)
JE8JGV(熊谷) JH8FKO(西村) JE8UAN(九津見)・・・・・・・・その他多数の局長さん

***使用周波数 21.382MHz**

***交信時間 毎朝午前7：00から1時間程度**

1980年から1995年現在まで15年間、殆ど1日の休みもなく続きました事は、その時々コントローラーその他多くの関係各位の弛まぬ努力の賜物と深く感謝申し上げご挨拶と致します。
有り難うございました。



集いの参加者（順不同 敬称略）

Ray Beever (VK3BRB), Joan Beever (VK3BJB), 渡辺起世 (JM2UAN), 渡辺美枝子 (JO2TMV)
谷口 卓 (JK6LOU), 谷口美智子 (JM6UCV), 鈴木利江 (JH7GPT), 水野範彦 (JE2KMI)
板垣興平 (JA8DUU), 松本幸敏 (JS6CPG), 土居正俊 (JR6WNL), 日村 功 (JA8JTB), 大田エミ子
大田良春 (JF3FRR), 九津見 侃 (JF8HSZ), 九津見章子 (JF8NGS), 原田重美 (JH8XIX)
原田栄子 (JH8XIZ), 中村 力 (JM6BBK), 桑水流洋一 (JN6SLQ), 宮田智秀 (JP3UIO)
山田和子 (JD1BBH), 木原峯男 (JR8KDS), 大川清一 (JJ3ZXE), 中川孝夫 (JA8DZV), 檜崎公子
檜崎久光 (JF1AUM), 九津見 学 (JE8UAN), 九津見寿子 (JE8UAO), 西村直幸 (JH8FKO)
西村恵美子 (JH8DGE), 野村輝之 (JH8IZH), 井上 明, 中山 茂, 森本広志, 関根 光 (JA8WBX)
関根由紀子 (JF8HOY), 山崎信行 (JA8KLG), 伊藤征治 (JH8LDX), 尾崎芳正 (JA8CUP)
山田輝男 (JA8GWQ), 笠井義照 (JH8AHU), 堀川寿雄 (JA8YP), 工藤十巳夫 (JA8PBC)
森 政 (JH8BIB), 所 美子, 岡本直美, 星野千佳子, 末広完二 (JI8SHU), 末広美恵子 (JE8FCD)
大滝 健 (JI8IES), 山内正雄 (JA8GEG),

本来なら 白石鉦造さん、白石鉦次郎さん、白石英里子さん、小谷武福さんも参加予定でしたが天候が悪く、羽田、千歳間の飛行機が飛ばず参加できませんでした。楽しみにしていた鉦次郎さんの講演もお聞きすることが出来ず残念でした。

この頃は白石鉦次郎さんとなっていたようですが、今は白石康次郎さんの表記で通っています。

[<戻る>](#)

No. 7 シーガルネット20周年の集い

シーガルネット開局20周年記念 九津見学/JE8UAN

ご存知の様に1980年6月22日野村輝之さんを艇長とする道産子クルー4人乗りのヨットシーガル号が太平洋一周の大航海に出て1981年5月24日全員が元気に帰国する間、シーガル号と基地局との連絡係りとして発足したのが、そもそもの始まりであります。そしてこの時期をシーガルネットの第一期と位置づけております。

それから野村さん一家、ご家族4人で世界一周の航海に出られ、札幌の花泉さんがヨット。ロデオで、また同じく上田さんがヨット・アンタレスで、九津見侃が、AYA IIIで、JD1BEB・チホ、JR1MON・ワイノット等々が南太平洋週遊の航海をされた時を第二期、1990年~1995年頃まで日本周辺、南太平洋周遊それから今給黎さん、白石鉦次郎君等の若い人々の無寄港世界一周の時期を第三期としておりました。

そして1995年オーストラリアからジョアン夫妻が来日されるのを機会にシーガルネット開局15周年記念のフェステパルを開催する事にしました所、たくさんのご賛同を頂き盛大に祝賀会を開催することが出来ました、(参加者約70名)これで私のシーガルネットの責任は終わったと思っておりました。その後は惰性で習慣的に今まで通りにFKO 西村さんのサポートを借りながら毎朝ネットを開局していました。そして札幌在住の方々始め全国の皆様がたから5年後にまた20周年記念の祝賀会をやりましょうと半分は冗談まじりに言われておりましたが、もちろん20年まで続くとは思っていませんでした。ところが、1997年6月1日野村さんがクルーを公募して、寄港地ごとに乗り継ぐリレー方式で3年間の月日を賭けて世界一周の航海に出かける事になりました。それで今までの行き掛かり上、JH8AHU・笠井さんも毎日出てくれるとの約束でシーガルネットをお手伝いする事になりました。偶々ですが、大阪の鹿島さんが70歳の記念にと年寄港世界一周の航海に出られたのと重なり楽しいサポートをさせていただく事になりました。

お陰様でカラーサもホーン岬の手前でプームを折ると言う重大事故に遭いながらも1999年7月20日出港して352日ぶりで本年7月7日無事母港である大阪淡輪マリーナに帰着されました。引き続き本目であるシーガル号が7月16日予定通りに3年目で年事、室蘭のエンルム・マリーナに帰港しましたが、その間、時を同じにして6月には、ヨット・コチがサンフランシスコに向け、ヨット・オリハルコンがダッチハーバーに、北海道のヨット・ヘンキンがウェーキ島を経てハワイに向かっています。その他ヨット禅がケアンスの北リゾートアイランドに、シーマが金曜島に、エープリルフールがバヌアツにサキガケが南太平洋を経てグアムに、エープリルフォースがニュージーランド、ホロホロがフィリピンに、ヨット大雲がグアムに、オイチョとオーロラが地中海で航海中という状態です。

現在毎日サポートして頂いている局は、JH8FKO・JH8AHU・JA8CUP・JH8XIZ・JG8OMM (共に札幌)、JA5CZL・JF5SXR (共に徳島)、JK6HUB (屋久島)、JR6WNL (石垣島)、JH7GPT (原町)、JK6LOU (出水)、JG6KZG (喜入)、JA6ARC・JH6FUP・JA6UCB (鹿児島)、JK4UDQ・JK4IZB (共に広島)、J03CPS (串本)、JF2JEQ (御殿場)、JE2KMI (名古屋)、7N3NVT (鎌倉)、JEOXFU (長野)、

VK2JAL (シドニー)、VK3BJB (ミルドウラ)、KF5TF (テキサス)、YJ8KM (バヌアツ)、DJ0CT (ドイツ) その他本船の移動各局、その他時々出てこられる局長もたくさんおります。

今から15年前には20分か30分で終わっていましたが、現在はどうしても8時を過ぎる事が多くなりました、これも20年と言う長年月続けた為に7時から8時まで必ずシーガルネットをやっていると、皆様が理解してくださった賜物と感謝しております。先程も申し上げた様に、まだまだ海外

に出られるヨットがたくさんおられるし本船の方々も期待されておりますから、これからも皆様と一緒にこのネットがまだまだ続く様にお祈りして筆を置きます。



集いの参加者 (順不同 敬称略)

JOAN(VK3BJB)・RAY(VK3BRB)、TOKUYO(KF5TF)、アルフォンス・クララ、井田行雄(JG8OMM)、菊池政之、大田正純(JJ8QKH)・大田美紀子(JJ8QKI)、大田良春(JF3FRR)・大田エミ子、河野定夫(JF5SXR)、中山茂、北義和(JG6KZG)、木原峯男(JR8KDS)、九津見侃(JK8EIP)・九津見章子(JK8EIQ)、熊谷正雄(JE8JGV)、小谷武福(JA1TKA)、斉藤宗介(7N4HRC)、笹田良伯(JR5ACC)、白石鉦造(7N3NVT)、鈴木利江(JH7GPT)、須田修一(JH2OYY)、瀬尾昌弥(JA8GHX)、谷口 卓(JK6LOU)・谷口美智子(JM6UCV)、土居正俊(JR6WNL)、長江真人(JK8QCP)、中川孝夫(JA8DZV)、檜崎久光(JF1AUM)・檜崎公子、日村功(JA8JTB)、南谷正水、西沢信一(JK4IZB)・西沢カズ子(JK4UDQ)、野村輝之(JH8IZH)・野村君子(JI8JKP)、原田重美(JH8XIX)、原田栄子(JH8XIZ)、水野範彦(JE2KMI)・水野佳子、美馬厚志(JA5CZL)・美馬初代、武藤邦子(JN3QVB)、矢島 仁(JF2JEO)・矢島ときえ、山田輝男(JA8GWQ)、吉木彪(JE1JHN)・吉木祥子、米子昭男(JS3VYW)、渡辺起世(JE2UAN)、上田芳明(JH8EOM)

事務局スタッフ・・・

伊藤征治(JH8LDX)・伊藤純子、尾崎芳正(JA8CUP)、笠井義照(JH8AHU)・笠井繁子、工藤十己夫(JA8PBC)・工藤時子、森 政明(JH8BIB)・森 美知子、九津見学(JE8UAN)、関根光吉(JA8WBX)・関根由紀子(JF8HOY)、山崎信行(JA8KLG)・山崎雅子、西村直幸(JH8FKO)・西村恵美子(JH8DGE)・・・
ご苦労様でした。有難うございます。

この会は、私たちにとってはとても印象に残る集いでした。

JK6LOU 谷口夫妻が二日前に北見の方にお出でになり道東をご案内した後、一緒にシーガルの祝賀会に参加致しました。



せるのが好きだったようです。

流氷科学館にて



帰りは JF5SXR 河野さんをお連れして道東をご案内致しました。河野さんは河野メリクロンの先代の社長です。私達夫婦が徳島を訪れた時はシンビジュームの苗をバイオテクノロジーで育てていました。シンビジュームの7割がここから出荷されていた様です。特許期間がもう少しで切れると話されていました。栽培する場所を見せて頂きましたが、まるで研究室のようでした。沢山の試験管の中で芽が育てられ、次はサイズの大きいビーカーに移され・・・かなり繊細な作業でした。この頃、「養毛剤」の分野はまだ手がけていなかったかも知れません。私達は蘭のワインを何本か買い求めてきました。今では養毛剤「蘭夢」でたびたび、その宣伝がテレビに登場していますね。

網走 日本一のサンゴ草の群落

スペースがあるのでもう1枚の写真をご紹介します。平成2年（1990）1月30日、斜里の清里町で堀江健一さんの講演会が開かれました。北見在住の私達の知人が堀江さんと親しいとお聞きし、堀江さんとお時間を設定して頂きました。札幌、斜里の方にも連絡し、網走のセントラルホテルでお会いしました。

前列左から惣田さん、花泉博さん（JE8GMK、ヨット、ロデオ・・・洋上で堀江さんとドッキングされた方）堀江健一さん（JR3JJE）、原田栄子（JH8XIZ）中段、長尾さん、西村直幸さん（JH8FKO）、九津見学さん（JE8UAN）、後列 原田重美（JH8XIX）、山口さん

はからずも、3代目、4代目、5代目のコントローラーの顔合わせとなりました。

[<戻る>](#)



No. 8 シーガルネット30周年の集い

シーガル30年記念を迎えるにあたって JH8FK0 西村直幸

シーガルネットが誕生したのは1980年、今より30年前、北海道のヨットマンとしては初めての自作ヨット、シーガル号で野村輝之氏が南太平洋の航海に出発した時に連絡係りとして発足したのです。

私がシーガルネットにチェックインしたのは1986年、23年前ヨット工オリヤ(26フィート)大阪の立尾氏よりアメリカへ行くのでサポートの依頼があった時からです。小型のヨットなので低気圧に弱く難儀しているときに、ヨットフライングでセーリング中の安藤氏より朝7時のMMネットに出れば航海に必要な情報を得られることを教えられたのが始まりです、今サポートしているヨットが帰港したら、15周年を終えたら、20周年記念までは頑張りましょうと絶えず九津見コントローラーと励ましあっているうちに気がついたら、30年の月日がたっていました。

今日まで続けられたのは日本全国そして外国からの親切なサポートの方々のお陰と信じております、心から感謝申し上げます、特にハワイのMR・YUTAKA ARAKAKI 通称ハンドルネーム、タカさんにはいつも助けられ頭が下がります30年間でチェックインしたヨットの数100艇以上になりますが、志なかばにして船体を放棄したショックなニュースで涙した思い出の数々、その反面1989年に素晴らしいことがありました、7月23日午前8時5分N25。E149。父島付近でオーストラリアから帰国途中の札幌の花泉氏のヨット、ロデオとサンフランシスコから日本向けの堀江謙一氏の乗った船の全長僅か2.8mの世界一小さなヨット・マーメイド号とが、日本中のMMネットの皆様の見守るなか見事にドッキングして心から祝福を受けた事でした、その時花泉氏はお寿司を作り差し入れしたそうです。

このようにネットのメンバーが最もエキサイティングするのは、広い海原でヨット同士がアイボールする瞬間です、又91年6月にはN45。E178。で外国のヨット、インカンテーションとヨット垂乳根、92年6月にはN40、E16了。で札幌の大瀧氏のヨットリサとヨットはやかぜがドッキングに成功して、お互いベストクルージングを誓い合ったそうです、アマチュア無線家としてコントローラーをするにあたって一番大事にしていることは、ヨットは時にシングルハンドの場合、孤独に悩まされそれが大敵ということなので、それを少しでも解消し、またトラブルがおきたとき少しでもお役に立てられればをモットーとしてマイクを握っております。

言いかえればヨットマンへの電波は耳から飲む精神安定剤になればと思っております、これからも陸の灯台ではなく、電波の灯台守として声の出る限り、体力のある限り35年、40年を目指し、その時々をサポート及び関係各位のご協力を得て頑張っていく所存です。

最後に30年記念を迎えられたのは、札幌のアマチュア無線グループ、メンバーオブ・スネターズのご協力があったからこそ成し得たことです。メンバーオブ・スネターズは日本赤十字社への協力その他札幌市民マラソン等、アマチュア無線業務にボランティア活動として30年以上に亘り、森政明会長(JH8BIB)を中心に活躍しているグループです。シーガルネットのスタートもこのメンバーです、

本日ご出席いただきました皆様方のご健康とご健勝をお祈りするとともにメンバーオブ・スネターズの今後のご活躍をお祈りし、ペンを置きます。ありがとうございました。



- ① 長谷 ②長谷(JH5NUW) ③澤 ④澤(7M4WLP) ⑤西村(JH8FK0) ⑥九津見(JE8UAN) ⑦野村(JH8IZH)
 ⑧今井(JA6UCB) ⑨方波見 ⑩大瀧(JI8IES) ⑪九津見(JK8EIQ) ⑫渡辺(JM2UAN) ⑬伊藤(JH8LDX)
 ⑭堀川(JA8YP) ⑮滝野(JA8EGS) ⑯葛巻 ⑰下山(JA&CKT) ⑱小松 ⑲西村(JH8DGE) ⑳原田(JH8XIZ)
 ㉑西沢(JK4UDQ) ㉒大西 ㉓鈴木(JH7GPT) ㉔五十嵐 ㉕上田(JH8PRK) ㉖関根(JA8WBX) ㉗武田(JK8AGZ)
 ㉘森(JH8BIB) ㉙工藤(JA8PBC) ㉚近藤(JA30GY) ㉛森脇(7L4SVH) ㉜宮本(7N4NFA) ㉝佐藤(JQ2EBR)
 ㉞原田(JH8XIX) ㉟浅沼(JA8WWT) ㊱小松(JR8YJ0) ㊲山寄(JA8KLG) ㊳西(JK4IZB) ㊴檜崎(JF1AMU)
 ㊵堀江(JH8VUU) ㊶本間(JH2UZB) ㊷笠井(JH8AHU) ㊸尾崎(JA8CUP)



この30周年の集いで心残りだったことが一つあります。最初お空の上でコントローラーがシーガルネット30年の集いを7月2日に行いますと発表しましたが、どのような理由か途中で24日に変更になりました。ハワイのタカさんは最初の発表で直ぐチケットを購入してしまいました。(格安チケットで変更のきかないものです。) タカさんの北海道での予定をお聞きし、私達夫婦も札幌のスミレホテルに滞在し、タカさんの北海道での予定を立て直しました。父島の和子さんも駆けつけて下さり、5人の顔合わせになりました。西村さんにも連絡しましたら、ワンピースの葛巻さん、エトピリカの堀江さんを入れて参加し、サッポロビール園でささやかな夕食となりましたが、記念の大きな集りとは似ても似つかぬものになり、タカさんには申し訳ない結果になってしまいました。はるばるカウアイ島からお出でになったので、7月3日岩見沢のバラ園三笠の桂沢湖、富良野の富田ファームのラベンダー畑、そして旭川のタカさんの友人宅を訪れその後タカさん夫婦は札幌に戻り前日のホテルに1泊された後、北海道を離れました。多分、相当がっかりされたと思います。

[＜戻る＞](#)

No.9 シーガルネット5代目のコントローラー

西村さん亡き後、しばらくコントローラー不在の中でネットは続いていましたが、ある日ハワイのタカさんから、是非私にコントローラーを引き受けて欲しいと言う依頼の電話が入りました。

以前、オケラネットのお手伝いをしていた時、トラブルを抱えたヨットをサポートするにはハワイからのお手伝いも必要と思い、名前とコールサインしか知らないタカさんに電話を掛け、参加して頂いた経緯があります。

もう一つの理由としてはシーガルネットの30年の集いを持って間もなく西村さんがお亡くなりになったので、もし、その後35年の集いを開催するとしたら15周年、20周年、30年の集いを手がけて下さったスネターズグループに、手を貸して下さいとお願いし易い立場にあると思えたからです。出来れば35年の集いを開催したい強い気持ちがありました。又、私自身の性格を分析して引き受けたからには途中で投げ出さないで続ける事が出来るだろうと思う気持ちもありました。[最長10年という期限を付けて…]

それからが大変でした。西村さんは、まだまだ続けられると思っていらしたと思います。サブコントローラー的な存在の方も無く、色々教えて欲しい事が有っても、どなたにお聞きしたら良いのか分かりませんでした。私も大胆だったと思います。1ヶ月に3~4度しかチェックインせず、記録も全く取っていなかった為、レギュラー局のコールサイン、名前を全く把握していない状態の中お引き受けしてしまった訳です。

私自身も努力しましたが、シーガルネットの皆さんも気長に私が慣れるまで待っていて下さいました。一番大事なのはネットのレギュラーメンバーの把握です。名簿などは手元に無かったので聞き取った事柄の整理を一から始め、新しく組み立て直しました。この時一番お世話になったのは(JK1GFQ)川崎さんでした。突如現れたコントローラーに嫌な顔一つ見せず、細部に亘り丁寧に説明して下さいました。今でも感謝しております。

次に気になったのはネットのスタイルです。初代のコントローラー笠井さんの時は気の合ったグループで構成されていたので和気藹々の仲間内の言葉使いでした。2代目の熊谷さんの時は1度も参加したことが無かったので良く分かりません。3代目の九津見先生の時は穏やかな雰囲気、どなたにも公平な対応をしていらっしゃいました。言葉使いを崩すこと無く、さりとして堅苦しい雰囲気でも無く、私としては気に入っていました。4代目の西村さんは、もう少し皆さんが参加しやすいよう、意図的に親しみやすい言葉使いに気を付けている話をされたことがあります。コントローラーも色々気を使うものですね。

私の場合は初めネットの流れに違和感が無いよう西村さんのスタイルを踏襲しようと思ったのですが長期間継続するとなるとそれぞれの個性があります。無理をせず、私は私のスタイル、カラーで進めていくのがやりやすいと方向を変えました。コントローラーが変わる度にネットの持つ雰囲気が変わるのも良いかと思います。

今回は海外からネットを支えて下さった3人の方についてご紹介したいと思います。

[<戻る>](#)

No.10 海外からのサポート

シーガルネットのスケジュールは長い間、朝の7:00から、21.382MHzで行っておりました。朝の時間帯で21MHzが国内向け開けるのは5月～9月頃まで、後はノイズばかりの状態になってしまいます。この間、海外からのサポートがあったおかげで国内のコンディションが落ちた期間もネットを続ける事が出来ました。 特にお世話になった3人の方をご紹介します。

KH6CH タカさん ハワイ

タカさんは堀江さんのネットで何時もスケジュールタイムが終わった後声をかけ、短い挨拶を送っていらしたのでその存在を知っていました。私がオケラネットのお手伝いをしていた時ハワイ周辺でトラブルのあったヨットを安全にホノルルまで誘導するため、ハワイからのサポートも必要になり、全く面識の無いタカさんに電話をかけ、サポートに参加して頂くよう依頼しました。これがタカさんとの御縁の始まりです。

その後、私は近くに住む両親の介護のため、お昼の時間帯の参加は無理になり、シーガルネットに戻りましたが、いつの間にかタカさんもシーガルネットの方に移ってこられました。タカさんには古い時代の日本人気質を感じました。自己アピールなどせず、何時も控えめで誠実な人柄の持ち主と感じました。でも、揺るぎの無い筋の通った強さを同時に持っていたような気がします。初めは障害者、そのサポートをする方々と繋がりが深かった様ですが、私がヨットのサポートをお願いしたことにより次第にヨット関係の方々と繋がりが深くなり、沢山のヨットマン達がハワイを訪れた時タカさんのお世話になったようです。

カウアイ島は別名「虹の島」と呼ばれています。ダブルレインボウ、谷底の虹、広い畑では虹の立ち上がる箇所を見ました。地上5メートルほどは何も無く5メートルほどの高さから虹は始まっていました。圧巻だったのは夜の虹です。煌々としたフルムーンの夜、強い通り雨の後、海上に虹が架かりました。普通、月による虹は白い色合いのものが多いのですがこの夜は月の光が強かったせいか淡く七色の色が付いていました。

タカさんは通常の学校に通った後、アフタースクールで日本語の教室にも通われたそうです。それで日本語が大変お上手な訳も理解できました。カウアイ島の中心部にある飛行場の管制塔にお勤めだったそうです。ご自宅も水回りを専門業者に頼んだ以外は全部自分の手で建てられたとか・・・あらゆる面で優れた能力の持ち主だったと思います。



晩年のタカさんは大変だった様です。弟さんご夫妻もカウアイ島に住んでいましたが弟さんは奥さんに先立たれ、その上、認知症になってしまい、タカさんは毎日、弟さんのお世話を時間を取られるようになってネットへの参加が思うように出来なくなりました。タカさんの一番大変な時に何の力にもなってあげられなかったことが悔やまれます。

僅かばかりの慰めは名幸さん(JH3IXZ)が体調を崩しおそらく最後のオンエアと思われる日に本間さん(ex. JH1LSA)が気を利かせてタカさんにも知らせて下さいました。 図らずもこの日が私達にとって名幸さん、タカさんとの最後の交信となりました。本間さんのお気遣いに感謝しております。

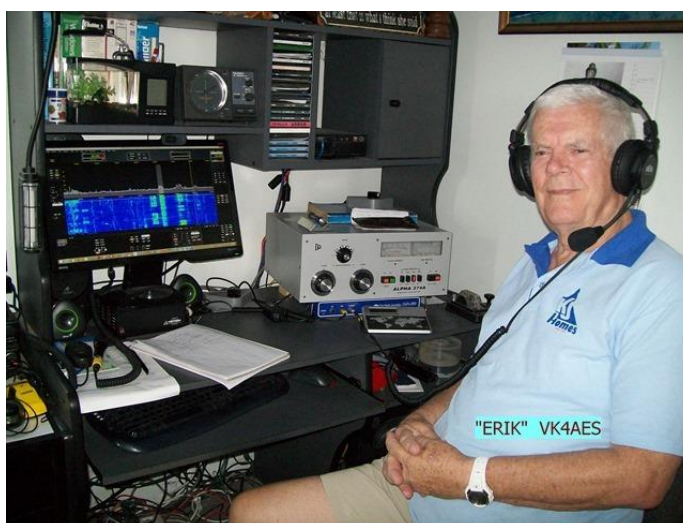
タカさんへのお詫びの気持ちで、時折ハワイのモモエさんに電話を掛け、昔話のお付き合いをしています。モモエさんは今年で90歳に成られるとか・・・ゲートボール仲間、カラオケ仲間、同世代の方達が次々亡くなられ身边は寂しくなったと話していました。

VK4AES エリックさん オーストラリア (ギンピー)

オーストラリアのエリックさんが初めてシーガルネットに参加されたのは2011年8月17日の事です。その日はノームさんのご都合が悪く、代理での参加でしたが、ネットの雰囲気が気に入ったご様子で毎日、参加するようになりました。

思わず笑ったのはネットの様子をワッチして気象情報の収集を目的としたネットと思ったそうです。昔のお仕事はパイロット、SSTVでのデジタルのソフトを開発され、そちらの分野でも有名な方だったとか・・・ 気さくでユーモアがあり皆さんを惹きつける魅力がありました。

さすがパイロットだった方、発音が綺麗で、且つ、分かりやすい英語で話されました。臨機応変に物事を処理する能力は抜群でした。全く日本語は話されませんでしたが、コンディションの悪い時は、録音、再生、の方法でネットメンバーとの会話をつなぎ、普段と変わらないネットを続ける事が出来ました。そのうちに、エリックさんも、ネットメンバーも慣れ、録音機を使わなくてもウエザー情報の交換が出来るようになりました。結構、皆さん簡単な英語を使えるようになっていましたよ。時々、クスッと笑えるようなジョークで楽しませて下さいました。ある日送られて来た写真を見て意味が分かりませんでした。よく見るとエリックさんの無線機、周波数はバッチリ21.382MHzを示していました。



(右の写真は自宅の無線機 Flex 3000 を遠隔操作していた携帯 iPhone の画面)。

奥様の体調が悪く、家事のお手伝いもしていたようです。犬の散歩で転んで大怪我をしたり、癌があちこち転移したり、辛い部分も沢山あった事と思いますが、ネットでは何時も明るくわずかも辛い部分は見せませんでした。

亡くなられる2ヶ月ほど前、もし、私が望むなら、コンディションの悪い時、エリックさんの自宅の無線機 Flex 3000 を北海道から iPhone で遠隔操作して日本のレギュラーメンバーとつなげるシステムを作り上げる事は可能でとおっしゃって下さいましたが、それを管理するご家族の方も大変でしょうし、また、そこまで無理をしなくてもと思い、お気持ちに感謝しますとお伝えし辞退しました。

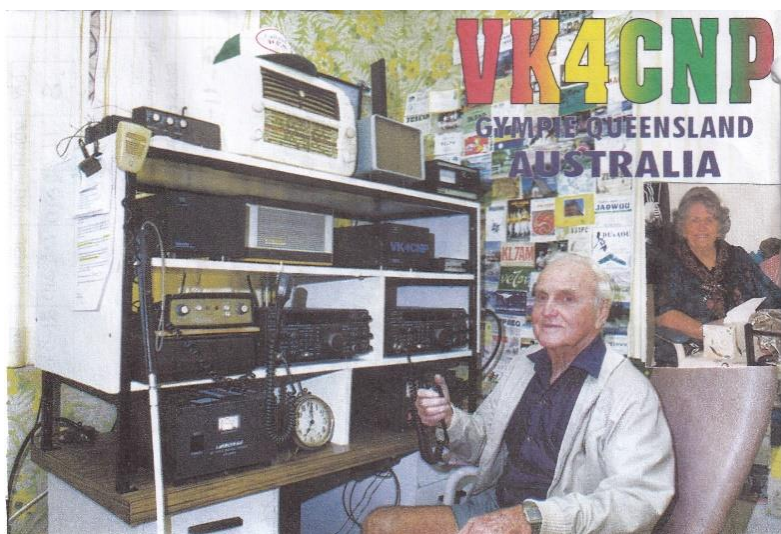


エリックさんとは3年半のお付き合いでした。2015年 1/1 [59]、1/6 (59) エリックさんネットのコントロール、1/7 (59)、1/8 (59)、1/18 (59)、1/24 (59)、2/12 (59) この頃は入院先のベッドの上からの参加でした。(携帯 iPhone で自宅の無線機を病院から遠隔操作してオンエアしていたようです。)

3月14日 エリックさんはシーガルネットをワッチされながら息を引き取られたと伝えられました。後日奥様から、引っ越しされた話と共にエリックさんにとってシーガルネットへの参加は最後の生きが이었다と伝えられる手紙が届きました。少しでも気持ちに寄り添い、お役にたてた事を知り嬉しく思いました。

VK4CNP ノームさん オーストラリア (ギンピー)

ノームさんは、私がコントローラーになる前からのメンバーのお一人でした。J I 5 Q N S (咏佐) さんからノームさんはお年を召している上、ブラインドハムで、シーガルネット、オケラネットに参加することが唯一の楽しみなので気を配って差し上げるよう情報を頂いていました。



ノームさんは遠慮がちでしたが誰よりも熱心にネットに参加されていました。日本語を全く話されないエリックさんがネットコントロールのお手伝いをされるのを見て自信が持てたのでしょね、エリックさんが亡くなられた後は、積極的にネットコントロールのお手伝いをして下さいました。立派なものです。

私が聞き取れないメンバーの情報を正確に復唱して下さいるので私の方でも容易に書き取る事が出来ました。ノームさんの奥様ジーンさんは2015年12月24日に亡くなられましたが、その葬儀の日までネットコントロールのお手伝いをして下さいすっかり恐縮しました。

ノームさんは2016年までネットの方に参加されましたがその後入院され消息は途絶えました。お嬢さんのメールアドレスが解り 2018年クリスマスにカレンダーをお送りしたのですが音信はありませんでした。あまりしつこく消息をお聞きするのも失礼と思いそのままになっています。

この3人の方々は心の深い部分で触れ合えた私にとって大切な方々です。シーガルネットを愛して下さった事に感謝します。

[<戻る>](#)

No.11 シーガルネット35年の集いの準備

シーガルネットの集いについて15周年、20周年、30年、35年と表示していますが、30年、35年は少しばかり前倒しの開催となりましたので、あえて周年と表示しませんでした。

揃えた方がすっきりするかとも思うのですが、私も含め皆さん正直で律儀です。表示の不揃いなところが有るのをご了承下さい。

35年の集いは、私自身も関わったものなのでかなり長い説明になります。今後、この様な会を持つ時、少しでもお役に立てると嬉しく思います。

2012. 11. 21 札幌でスネターズグループと会合（札幌）

（笠井さん、伊藤さん、工藤さん、森さん） この時スネターズグループの方から、もし、シーガルネット35年の集いを持つのであれば全面的にバックアップしますと申し入れがありました。但し、その時のコントローラーが準備段階の実行委員長、祝賀会当日の会長を務めなければならないという話です。言うなれば、35年の集いに向けての全責任者と言う立場です。私で勤まるのかかなり迷いました。でも、35年の集いは私も望んでいたことです。折角手伝って下さる方々がいらっしゃるのに私が尻込みしたばかりに流れてしまうのも勿体ない話です。思い切って開催の方向に舵を取りました。

2013. 5. 28 シーガルネット実行委員の顔あわせ（札幌）

（笠井さん、山寄さん、伊藤さん、工藤さん、役田さん、浦瀧さん、葛巻さん、堀江さん、西村さん 原田 この日森さんは都合が付かず欠席）いよいよ開催に向けてのスタートを切りました。金銭的何も無いところから始めなければなりません。1律2万円カンパから始まりました。

案内状の発送、記念誌作り・最終的に出席者が多く幾分ゆとりが出れば幾ばくかのお金は返金できるが、そうで無い場合は文字通り全面カンパという話です。そこまでして皆さんに喜んで頂こうと言う思いに圧倒されました。

2013. 10. 15 スネターズグループと原田2人の打ち合わせ（北見）

（笠井さん、伊藤さん、山寄さん、工藤さん、森さん、原田2人）この段階でも、私自身がどう動いたら良いのか分かりませんでした。スネターズグループの方達も気をもんだと思います。話の中で15、20、30年の集いの案内状のリストがあることが解り気が楽になりました。リストが有るならそれを参考に35年の案内状のリストを作り上げていくことが出来ます。過去のリストを見て思わず笑いました。プライバシー等にうるさくない時代でしたので案内状のリストにはなんと電話番号まで載っていました。

この時にシーガルネットに毎日のように参加下さいました、浦瀧さん・滝野さんにも集いの副会長を依頼しました。

2013. 10. 28 リストを作り祝賀会の案内状発送・・・・・・（記念誌原稿公募）

2013. 11. 27 実行委員会の打ち合わせ（札幌）

スネターズグループはホテルとの交渉、案内状の発送と集約、記念誌作り、会計・・・現役の浦瀧さん、役田さん、葛巻さん、堀江さんはヨットマン達へのお誘い、記念品の選定と発注、会場の設営を担当しました。

2014. 1. 11 追加の案内状発送 個人的にお誘いのメモも同封

2014. 1. 15 実行委員会打ち合わせ（札幌）

工藤さん西村さん私の3人で名簿のチェック、その後皆さんと合流記念誌に広く原稿を公募したため、次々と原稿が届く、その都度、担当の工藤さんと打ち合わせ（原稿と写真）

2014. 5. 7 実行委員会打ち合わせ ホテルの担当の方も参加（札幌）

オホーツク海岸の砂浜で採った浜ボウフウ 12人分持参 夫も参加

2014. 5. 22 感謝状作成それぞれの人に合わせて文面を考える。（功労者12名）

KH6CH VK4AES VK4CNP KF5TF JD1BBH JA1TKA
JF1AUM JL1IYY JH8IZH JE8UAN JH8FKO JH1LSA

2014. 5. 25 祝賀会のテーブルの割り振り、宿泊の部屋割

それぞれの繋がりを考慮しなければならないのでかなり神経を使いました。

15周年、20周年を担当された久津見先生は岩見沢在住、札幌へは日帰りも可能な距離でした。30年を担当された西村さんは札幌在住、何の問題ありません。35年を担当した私は北見在住、バスで片道5時間かかります。最終的な決定は代表者の同意が必要と言う事で、準備段階で4度、札幌通いをしました。会合は夜なので郊外に住む兄弟のところに泊まるわけにも行かずその都度、街の中のホテルに泊まりました。札幌の土地に不案内な私にとってホテル、打ち合わせ会場に行くのも大仕事でした。今ではスマホなど便利な物があるのでもう少し簡単かと思いますが・・・

実際の実行委員の方々はこの倍以上の集まりを持っています。私は大事な部分に絞って参加させて頂きました。



実行委員皆さん（敬称略）

前列 左から

伊藤 笠井 栄子 山寄

後列

役田 浦瀧 堀江 工藤

西村 葛巻

縦

滝野 森 原田

[<戻る>](#)

No.12 シーガルネット35年の集い

沢山の人々に感謝して

JH8XIZ 原田 栄子

1年がかりで準備に取り組んだNo.11シーガルネット35年の集いも6月22日、いよいよ当日を迎えました。最低ラインの40名に達するか、かなり気をもんだのですが締め切り日を過ぎた後も話を聞きつけた方々の申し込みが続き最終的には59名の参加になりました。実行委員一同は早くから会場に入り、受付準備、テーブルの配置、会場の飾り付け、それぞれ担当した箇所に抜け落ちの無いように最後の点検をしておりました。

時間が近づくと懐かしい方々が次々と会場に姿を見せ、あちこちで談笑の輪が広がりました。楽しい集いへの予感です。私に取っては思いがけない方々も沢山参加して下さいました。ハワイからタカさん、モモエさんご夫妻、父島の山田和子さん、明るい声と会話で人気のあったKubo Yokoさんとその姉妹、14歳で太平洋を単独横断した「アドバンテージ」の高橋素晴さんにご両親、世界のヨットレースで有名な「酒呑童子」の斉藤さん、片腕のヨットマン「エミュー」の米子さん、わざわざマレーシアから駆けつけて下さった「シーマ」の松浦さん、長距離航海「夢丸」の沢さん、「オーロラ」の森脇さん、長老「どんたく」の檜崎さんご夫妻、シーガルネットの集い4回目になりますが皆勤賞の「悠悠」の今井さんは格調高く着物姿での参加です。その他 沢山のヨットマン、サポート局が駆けつけて下さいました

おそらく私達がお世話できる最後の祝賀会になるだろうと思い、今回は主催者主導の宴会の形は一切取らず、あくまでも皆さんが会話を楽しめる雰囲気作りに力を入れました。最初は会話の邪魔になるのでカラオケも予定に入れておりませんでした。ハワイのモモエさんは美声の持ち主でハワイのあちこちの、カラオケ大会に参加されていた方です。今回張り切ってわざわざハワイからカラオケ用のテープを持参するとお聞きし、急遽カラオケも取り上げました。但しボリュームには細心の注意を払って頂きました。

最初の挨拶で「スタッフ一同頑張って皆さんの集いの場を作りましたが、後の盛り上がりは皆さん次第です。帰られてから心残りの無いように遠慮無く沢山の方々に話しかけ交流の場を広げて下さい。」と申しあげました。祝賀会が始まりますと皆さん時間を惜しむかのようにあちこちのテーブルを移動し、交流の輪は広がりました。楽しそうな笑い声、カメラにグループで収まる人達、私もあちこちのテーブルを回りながら皆さんとの会話を楽しませて頂きました。舞台の上のカラオケもモモエさんのリードで楽しく進みました。こちらも盛り上がり、良い雰囲気でした。ボリュームに気を付けて頂いていたので会話の妨げにもならず会場の雰囲気とカラオケがうまく両立していました。

中心となって準備に関わって下さったスネターズグループの方々は大人のセンスの持ち主です。始まる直前まで細部に亘り目配りし、準備して下さいましたが、祝賀会が始まると現在のネットに現役の私達に全てを任せ、必要に応じて手助けできるよう待機して下さいました。後で感想を伺いますと非常に良い雰囲気、集まりの中で孤立したり、取り残されたりする人が居ない様参加者の方それぞれが気を配っている感じが感じられたとのことでした。モモエさんから「エイコ、リラックスして楽しそうだったよ。」という感想を聞かされましたが、バックアップがしっかりしているので何の心配も無く私自身も楽しませて頂きました。

翌日は祝津マリーナのご厚意で希望者をパワーボートでクルージングして下さいました。私自身もパワーボートに乗りたかったのですが、なんと言っても主催者です。お帰りになる皆さんのお見送に専念しました。心に残る良い祝賀会だったと思います。遠くから駆けつけ祝賀会を盛り上げて下さった皆様に心より感謝申しあげます。又、準備に頑張って下さった実行委員の方々にも感謝申しあげます。お疲れ様でした。1年間、寝ても覚めても頭から「祝賀会」という言葉が離れなかった私も全てから解放された一瞬でした。



2014年6月21日 シーガルネット35周年 グランドパーク小樽

前列左から（敬称略）

檜崎・檜崎公・クボ・山田・モモエ・タカ・原田栄・野村・斉藤・浦瀧・葛巻・高橋素・関根・五十嵐
2列目 森・角野・小谷・高橋千・市川邦・今井・西村・澤・原田進・日村・大田・エミ子・吉原・米子・
原田・別所・諸沢
3列目 鈴木・栄・石川・高橋裕・山寄・森脇・清水・尾崎・松浦・工藤・笠井・湊塗茂・堀江・伊藤
4列目 藤田・市川・下山・滝野・長谷・長谷香・三浦・役田・林・市川



当日の朝の打ち合わせ（受付・接待・進行など）



関根さんからのプレゼン
会場が華やかに（有り難う）

参加者のスナップ (敬称略)



後列右から JH8XIZ JL1IYY JD1BBH
と YOKO さん姉妹



前列左から JH8DEG JH8XIZ
高橋夫妻 素晴さん JA8EGS JA8WBX



JS3VYW JM6J TZ 7M4WLP



全体会 TAKA さんスピーチ



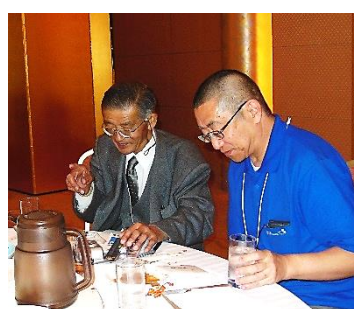
左から JD1BBH JP1OTY JL8XVX



KH6CH 夫妻



左から JK8LCV JI1DUU モモエ



JP1OTY 7L4SVH



JF1AUM 夫妻



カラオケで大盛り上がり



和気藹々 のりのり



JH5NUW 夫妻



スネターズ メンバー



大田 浦瀧 西村 モモエ



JH8IZH



JA6CKT



JH5NUW



JH1EXT



JA6UCB



JA1TKA



JA8MQT



モモエ JA8KLG



JO1UWG 7M4WLP



JH8XIX

実行委員一同の写真

思い出の多い祝賀会でした。おそらく北海道で開催できる最後の集いに成ると思い、沢山のスナップを掲載させて頂きました。御本人の承諾を得ておりません。ごめんなさい。皆さん有り難う御座いました。

[＜戻る＞](#)



No.13 35年の集いを終えて

35年の集いは長い間ヨットのサポートに関わって来た私にとって今までの集大成のような集いでした。

オケラネットのお手伝いをしていた時、ハワイの北の方で嵐に遭い、目的であったアメリカまでの航行は無理というヨットが出てきました。ハワイ周辺の海図は持たず、どの様にホノルルまで誘導するか思案しました。その時 JP10TY「夷隅」の吉原さんが4つのGPSのポイントを伝えて下さいました。それにより「シーマ」の松浦さんは無事ホノルルまでたどり着くことが出来ました。集いでは、吉原さん、松浦さん、タカさんの3人をお互いに紹介する機会に恵まれました。

又、オケラネットのお手伝いをしていた時、JD1BBH, JL1IYY/mm, JH8XIZ、YL 局3人がそれぞれ離れた地点からマイクをパスしながらネットをコントロールしていた時期がありました。

7N3NVT（故）白石さんなどは「今日は3姫が揃いましたね。」等とおっしゃっていました。Yokoさんには1度お会いしたいと思っていたのですが、願いが叶ってYokoさんは姉妹4人で参加して下さいました。

14歳で単独太平洋横断航海を成し遂げた「アドバンテージ」の高橋素晴さんもお両親と共に参加して下さいました。なんと言っても14歳でした。私は心の中で（小さな巨人）と呼んでいましたがこの度お会いした時はすっかり大人になっていました。

サポートネットでたびたびお相手頂いていた JI1DUU/mm「酒呑童子」の斉藤さんが思い掛けず参加して下さいたのも嬉しかったです。

今回参加された後、日を置かずしてお亡くなりになった長距離航海のヨット「夢丸」の澤さんに付いて少しお話ししたいと思います。澤さんがお亡くなりになった後、その死を悼むメッセージが何通か私の方にまで届けられました。その中に塩っ気のある男という表現が何通か有りました。ヨット仲間根性のあると言う褒め言葉と受け止めております。皆さんから慕われていた様子がうかがえました。

今回つくづく感じたのはこのような集いを持つ難しさです。シーガルネットは形があつてないようなネットです。現在の構成メンバーのみを対象にするのでしたら簡単に電話番号、住所を調べて案内できるのですが、全国規模、しかも35年の時の流れを経過した方々にどのような方法で連絡を取るかが大きな課題でした。私の場合実行委員長をお引き受けしたもののどこから手を付けてよいのかわかりませんでした。およその人数を推測できればホテルとの交渉も出来ません。

何回かの話し合いの中、スネターズグループで過去の15周年、20周年、30年の案内状を発送したリストを保存していることを知り、それからは一気に仕事を進めることが出来ました。引き継がれたリストはシーガルネットにとって大きな財産なのでしょうね。

プライバシーの尊重を重視している現在の世の中で安易に名簿を人手に渡すことはできません。今後ますます広くご案内するのは難しくなっていくと思われます。

オケラネットのホームページにシーガルネット35年の集いの案内を掲載させていただきましたがこれも有効に働いたようです。思いがけない方々の参加もありました。

又仕事の内容も膨大なものです。ホテルとの交渉、案内状のリストづくり、案内状の発送、返信の回収、参加者のリストづくり、記念誌の作成、当日のプログラム、テーブルの配置、部屋割り、感謝状、受付、記念品、写真、ビデオ、流れがうまくいくように全体を見ての気配り、終わった後の礼状とスナップ写真の発送・・・手のかかる部分はすべてスネターズグループの方たちが引き受けて下さいました。ネットに現役の方々も良く動いて下さいました。

振り返ってみて大変な仕事でしたが35年の集いを開催してよかったと思います。一期一会という言葉がありますが、その後お亡くなりになった方が何人かいらっしゃいます。「夢丸」の澤さん、「夷隅」の吉原さん、ハワイのタカさん、会場に花を飾って下さった JA8WBX 札幌の関根さん、自分の事のように喜んでくださったブリスベンの VK4AES エリックさん、皆さんと楽しい時間を過ごせたことをうれしく思います。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

シーガルネット35年記念式典参加ヨットマン名簿 敬称省略				
	氏 名	C a l l	住 所	船 名
1	石川 博幸	JK8KML	札幌市	yacht Oceans' 4
2	市川 和良		千歳市	yacht Sandremu
3	市川 守	JA8GIV	札幌市	yacht Paparagi
4	今井 清二	JA6UCB	鹿児島市	yacht YUYU
5	浦瀧 富士幸	JK8LCV	札幌市	yacht Seagull
6	葛巻 裕一	JL8XVX	札幌市	yacht Onepiece
7	小谷 武福	JA1TKA	狛江市	yacht Okera
8	斉藤 実	J11DUU	横浜市	yacht 酒吞童子
9	栄 清利		福岡市	yacht Happy Time III
10	澤 茂夫	7M4WLP	相模原市	yacht Yumemaru
11	鈴木 新二		小樽市	yacht ブルーギーター
12	高橋 素晴	JH0YCG	枕崎市	yacht Adobante-ji
13	滝野 康介	JA8EGS	鹿部町	yacht 勸進丸
14	檜崎 久光	JF1AUM	福生市	yacht Dontaku
15	野村 輝之	JH8IZH	札幌市	yacht Seagull
16	秦 政弘	J03PLZ	富田林市	yacht aura
17	林 泰治		札幌市	yacht te・rosa
18	藤田 吉隆	J01UWG	横浜市	yacht 10.Years
19	別所 康晴		泉南市	yacht Koheill
20	堀江 勉	JH8VUU	札幌市	yacht Etoperika
21	松浦 倬也	JM6JTZ	北九州市	yacht CIMA
22	三浦 英順		札幌市	yacht Clione
23	森脇 一郎	7L4SVH	箕面市	yacht AURORA
24	役田 徹	JA8MQT	札幌市	yacht Milkyway V
25	吉原 文昭	JP10TY	東京 品川	yacht 夷隅 isumi
26	米子 昭男	JS3VYW	堺市	yacht EMU-II
27	塗茂 哲治		那須塩原市	yacht RYO

* 船名 CALL 等にミスがあればお知らせください。

[＜戻る＞](#)

No.14 35年記念祝賀会に参加された長距離航海のヨット

(敬称略)

* 「エミュー」 JS3VYW 米子 昭男

漁業の仕事に携わっていたが海の事故で左腕を失う。
単独でフランスに渡りヨットを購入、見よう見まねで
操船技術を身につける。

(当時日本では片腕では船舶航海士のライセンスは取得できなかった)

1995年6月15日 フランス ラ・ロシェル出港

1996年4月03日 パナマ運河通過 南太平洋の島々を
巡る。

1997年5月12日 大阪の淡輪へ入港

単独、しかも片腕で大西洋、太平洋、二つの海を乗り
切った事が高く評価され、第2回目の植村直己冒険賞
を受賞する。



* 「酒吞童子Ⅱ」 JI1DUU 斉藤 実



数々のレースに参加 レジェンド的存在

1990年 オークランド 福岡レース GHS部門 3位

1990年～1991年 第3回 BOC 単独世界1周レース

197日で完走 (出場クラス第3位)

1994年～1995年 第4回 BOC 単独世界1周レース

(出場クラス第6位)

1998年～1999年 第5回アラウンドアローン世界1周レ
ース 203日で完走 (ゴール時65歳で最高年齢記録を樹立)

2001年 帰路ケープタウン、タスマニアに寄港

回航を含め地球5周

2004年～2005年 最高齢にて東回り単独無寄港世界1周成功

2007年 米国のクルージング、クラブオブ ブルーウォーターメタル受賞

2012年 米国USパワースクオアドロンデル、カモアワード受賞

植村直己冒険賞受賞

* 「オーロラ」 7L4SVH 森脇 一郎

1997年 神奈川県 油壺出航

アラスカ、カナダ、北米(サンフランシスコ) 南太平洋(フ
レンチポリネシア、クック諸島、トンガ、フィジー、オー
ストラリア、チャゴス島、アフリカ、エジプト、スエズを
経て地中海(キプロス、トルコ、ギリシャ、シシリー、バ
レアレス諸島、ジブラルタルを経てカナリア諸島、ブラジ
ル、ウルグアイ、アルゼンチン、チリ、フレンチポリネシ
アの島々、アメリカンサモア、ポンペイ、サイパン、

003年5月和歌山到着6年に渡る長い航海を続けた。

愛猫アフラの出会いにはトルコで、その後和歌山までアフラ
と航海を続けた。



＊ 「アドバンテージ」 JH0YCG 高橋 素晴

1996 年 7 月 22 日東京湾夢の島を出航「牽引船に引かれて」国内で船を操縦するには 1～4 級の資格が必要で受験資格は 16 歳以上、海外には普通 1 級の船舶免許が必要、18 歳以上・・・素晴君は 14 歳なので推進用のエンジンは使えず発電用のみエンジン使用は可能と言う事で推進用のプロペラはロックされた状態の航海となりました。

普通の人の航海よりもっと苛酷な条件下での航海でした。途中無線の交信が途絶え、アメリカに住む友人 KN6RJ 坂本さん、ハワイのタカさん沢山の方々にワッチをお願い致しました。素晴君は数々のトラブルを自力で克服し航海を続け、1996 年 9 月 13 日 無事サンフランシスコ入港。世界最年少 14 歳での太平洋単独横断に成功、アメリカのマスコミはこぞって暖かい祝福を送り、その快挙を称えてくださいました。



＊ 「夢丸」 7M4WLP 澤 茂夫

澤さんはシーガルネットの 30 年の集いの時、講演をされましたがその時の内容は海賊の襲撃を受けた経験についてのお話でした。ヨットマンにとってあまり無い話です。今回、奥様の方に電話で色々とお伺いしましたら、その時の様子を詳しく記録した物を FAX で送って下さいました

2004, 4, 5, パナマのバルボアを出航し、ガラパゴスに向かっていった時の話です。30 トンほどの元漁船という感じの船が近づいてきてジセル、ジセル（軽油という意味）と言いながらあっという間に 2 人、続いて 3 人の男がピストル、包丁を持って乗り込んできて僅か 20 分ほどの間に航海に必要な物をほとんど持ち去ったとの事です。被害は航海計器各種、無線機 3 台、カメラ 3 台、双眼鏡 2 個、腕時計 3 個、チャート 100 枚ほど、問題はチャートと GPS の予備も含め 3 台、全て持って行かれ、その後、位置もスピードも航行距離も正確には分からず、頼りになったのは太平洋全図とコンパスだけでした。そのままガラパゴス行きは無理なのでパナマに引き返すことにしました。いろいろな不安を抱えながらひたすらパナマとおぼしき方向に進路を取り無事たどり着いた時はホッとされたそうです。その日交信した時の位置が記録されていて U ターンの起点になった事も幸でした。幸いなことにチャートデブールの天板が上開きになるのに気づかず中に入っていたドルの現金、銀行カード、クレジットカード、パソコン関係、デジタルカメラは無事だったそうです。ご夫婦とも抵抗しなかったので無傷で解放されましたが、帰りがけ海賊船が散々ヨットにぶつかっていたので外からのダメージもかなりあったとのことでした。



これと同様の話は {希望号Ⅱ} 藤村さんにも有りました。インドネシアの海域にも良く海賊が出没するところが有るそうです。海賊にも 2 種類有り、給油をしているスーパータンカーめがけて這い上がってくる組織の大きい海賊、もう一つは地元の漁師で貧困の為、たまたまヨットなどを見つけて襲うタイプ・・・ 1993 年 10 月 24 日 {希望号Ⅱ} はこのタイプの海賊船と出会ってしまいました。スピードを上げピタッと追跡されるので恐怖で震え頭が混乱して何をすべきか判断できない状態になったそうです。色々試み、距離にして 50 メートルほどの所で間一髪逃げ切れたそうです。{夢丸} の澤さんご夫妻、{希望号Ⅱ} の藤村さん、無事生還できて本当に良かったと思います。

[<戻る>](#)

No.15 メンバー オブ スネターズ

シーガルネットの長い歴史の中で欠かせない存在としてメンバー オブ スネターズ を御紹介します。私は略してスネターズと呼んでいます。

グループの方の話に依りますとこのメンバーは名称のように スネテイル とか ヒネクレテイル など心がねじけて強情を張る人々の集まりで（ジョークです。）昭和 52 年頃（1977 年）にまとまった個性豊かな仲の良いハムグループです。約 20 世帯（30 名ほど）の集まりで主に新年会、忘年会、スキーツアー、海水浴などレクリエーションを主とした交流のグループですが、中には日赤奉仕団などで活躍されている方もいるようです。

昭和 55 年（1980 年）初代のシーガル号（野村輝之艇長を含む 4 名）がポートランド、及び南太平洋一周の航海に出航した時このスネターズを母体としてサポートネットが構成されました。

私は開局し HF 帯に出るようになってまだ 1 ヶ月ばかりの時このグループと出会いました。シーガル号の航海を追いかけると共にこのグループとの交流の中で無線のマナー、会話の手順等を身につけた訳です。いわば私に取っては兄貴分と言った存在のグループです。



シーガル号の航海にこのグループが関わって下さった事が幸でした。あまり無線の方に力が入っていない様ですがボランティア精神が旺盛で、皆さんに喜んで頂くのを生きがいとしているグループのようです。シーガルネットの 15 周年、20 周年、30 年、35 年の集いの時、主としてこのグループが母体となってお世話をして下さいました。35 年の集いを開催するに当たって、このグループから開催する気持ちがあるならお手伝いしますという申し入れが有りましたが、もし無ければおそらく 35 年の集いは持たれなかったと思います。長い間の実績を見て私にとって絶対的に信頼出来るグループでした。



シーガルネットの節目ごとに集いを開催して下さった事がシーガルネットの今に続く土台になっています。節目ごとに、その時のコントローラーがネットの出来事を記念誌にまとめて下さいました。それで 40 年を超える年月でしたが記念誌を基にシーガルネットの歴史を辿ることが出来ました。私は初代のシーガル号の時と 2009 年 5 代目のコントローラーをお引き受けしてからの記録は残していますが、九津見先生、西村さんのコントローラーの時は 1 週間に 1 度くらいチェックインして朝のご挨拶をするだけで一切の記録をとっていません。

どのようなヨットのサポートをしていたのか、陸上のサポート局としてはどのような方が参加していたのか全く記憶にありません。記念誌に記録が残されているのは有り難いことです。

スネターズグループの写真を2枚ほど掲載しておきます。家族ぐるみの和やかな雰囲気がうかがえます。

主に 35 年の集いの時、中心となってお世話を下さったスネターズの方々を御紹介しておきます。

- * JH8AHU 笠井義照さん 初代コントローラー
- * JH8LDX 伊藤征治さん
- * JA8PBC 工藤十己夫さん
- * JH8BIB 森 政明さん
- * JA8KLG 山寄信行さん 野村さんの従兄弟
- * JA8WBX 関根光吉さん

関根さんは私がコントローラーになった後も時折朝のシーガルネットにチェックインして下さいました。ロマンチストです。シーガルネットの 35 年を記念して真紅のバラ 35 本を会場に飾って下さるつもりだったのですが、お花屋さんで 35 本揃える事が無理で代わりに会場に大きな花を飾って下さいました。モモエさんなどはすっかり気に入り何枚も写真を撮っていました。お心遣い感謝します。シーガルネットの後、間もなくお亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します。

失敗したのは会場でこの方達のまとまった写真を撮っておかなかったことです。スナップ写真として何枚か取り上げていますが・・・ 20 周年の集いの時の受付でこの方達のまとまった写真が何枚かありましたのでそちらを取り上げておきます。

昨年このグループが顔を合わせた時、40 周年はどうだろうという話になったそうです。それぞれお孫さんのいる年代です。もう、無理だろうという結論になったとか・・・長い間シーガルネットを見守って下さった事に歴代のコントローラー、久津見先生、西村さんの分も含めまして心より感謝申し上げます。



左から 敬称略

JH8LDX 伊藤 征治
JH8FKO 西村 直幸
JH8XIZ 原田 栄子
JA8PBC 工藤 十己夫
JA8KLG 山寄 信行
JA8CUP 尾崎 芳正
JH8BIB 森 政明
JH8AHU 笠井 義照

この写真は 20 周年の集いの時の受付時の物です。

[<戻る>](#)

No.16 5代目コントローラーとしての記録 (2009～2014)

シーガルネットについて私の分かっている分を書き出してみました。一寸退屈な内容になりますが時代と共にネットがどの様になっていったか良く見えてきます。

2005年9月28日 3代目のコントローラー (JE8UAN) 九津見先生は「アヤⅢ」で航海した弟さんがお亡くなりになったのを機にコントローラーを退き、(JH8FKO) 西村さんと交代されました。

2009年7月24日西村さんを会長としてシーガルネット 30年の集いが持たれましたがそれから間もなく倒れて入院、11月20日お亡くなりになりました。九津見先生がコントローラーの時もサブコントローラーとしてお世話して下さったので、一番長期に亘ってネットの関わって下さった方です。

2009年西村さん亡き後タカさんの推薦もあり、(JH8XIZ) がネットコントローラーとなりました。既に秋も終わりのシーズンで HF 帯のコンディションは大きく変わりチェックインする局も少なかったです

2009年 (2009, 11, 20 以降)

MM局	JF1AUM「ドンタク」 JI5HSN 本船(井伊さん)	JE6BBF「チナミ」 SM6UTO「LIVA」	JI1DUU「酒呑童子」
海外局	KH6CH タカさん	VK4CNP ノームさん	
陸上局	JD1BBH JK1GFQ JH2UZB JF3TZB JA5TX JI5QNS JA8EGS JH8XIZ	JR1XRS JA1DSJ JA3FAT JF3FRR JA6CKT JM6DVC JE0XFU JH8VUU	JM1INJ JE4UDQ

2010年 この頃は長距離航海のヨットも結構多かったです。

MM局	JG1LEV「クリアウォーター」 SM6UTO「LIVA」 JI1DUU「酒呑童子」 JA1DMJ「スック」 JH8VUU「エトピリカ」	JK8LCV「シーガル」 JR2HFX「カゲトラ」 VK4GX「カリプソ」 JQ2XAF「ニイタカマル」 JG1DEK「HAGALU」	JM1INJ「ドルチェ」 JH6LWO「NEXT」 JE6BBF「チナミ」 JR8YJO「マイウェイ」 JF1AUM「ドンタク」
海外局	KH6CH(カウアイ島)タカさん VK4GX (ブリスベン) 小原さん KH2A ハービーさん	VK4CNP(ギンピー) ノームさん KH6RC (ハワイ島) ランディさん	
陸上局	JK1GFQ JM1INJ JA1FNG/2 JA1TKA JM1XBI JE1LIJ JR2IEQ (JF3FRR より変更) JA5TX (LIVA のサポート局) JA6UCB JH6FUP JH8XIZ JE0XFU	JD1BBH JA1DMJ JE1GEE JG1DEK JH2UZB/1 JH2OYY JF3TZB JA3FAT JA6CKT JA6ARM JA8EGS JH8DGE	JR1XRS JI1XVV JS2WKZ JI5QNS JM6DVC JH8XIX

2011 年

MM局	JA1DMJ「ヌック」 JR2HFY「カゲトラ」 JL8XVX「ワンピース」 JI5HSN 本船(井伊さん) JA3FAT「アイアイ」 6K5CIU「イントレピット」 JF1AUM「ドンタク」 VA7JSM	JM1INJ「ドルチェ」 JH6LWO「NEXT」 JI1DUU「酒呑童子」 JA3OGY「ポカポカ」 JA8MQT「ミルキーウェイ」 JI2HOY「キングビー」 JK8VUU「エトピリカ」 JH9EOM「ファーストウェーブ」	JK8LCV「シーガル」 JF6CRQ メキシコ向け VK4GX「カリプソ」 JR8YJO「マイウェイ」 JP1OTY「夷隅」 JE4ADM「かもめ」 JF1XUP「ミサゴ」
海外局	KH6CH VK4CNP VK4AES (ギンピー、エリックさん 2011,8,17 参加) VK2FJPR(シドニー)JONE さん KH2A DU8EE(ミンダナオ島)エドワードさん KF5TF(アメリカ テキサス)トクヨさん W6ZEN(アメリカ・サンノゼ)ZENさん ジャネットのコントローラーをされていたこともあり、堀江謙一さんの航海のサポート にもかかわっていました。		
陸上局	JD1BBH JA1FNG JK1GFQ JR1XRS JA1DMJ JE1GEE JA1TKA JI1XVV JL1ASS JE1PED JH2UZB JR2IEQ JH2OYY JF2GQF JA3FAT JH3IXZ JF3TZB JA3OGY JI5QNS JH5NUW JA6CKT JA6ARM JM6DVC JA6UCB JE7USS JH8DGE JA8EGS JA8MZB JA8MQT JA8WBX JH8XIX JH8XIZ		

2012 年

MM局	JK8LCV「シーガル」 JR2HFY「カゲトラ」 JA8MQ「ミルキーウェイ」 VE0KRP「シルクパース」 JH8VUU「エトピリカ」 JA8EGS「勸進丸」 JR2LJI「ナガツキ」 JN3VHZ コウヅキさんとメルボルン	JM1INJ「ドルチェ」 JM3WAL「マンタⅡ」 JO4DZZ「リュウオウ」 JE1LQA「トレード」 JA3FAT「アイアイ」 JI5HSN 本船(井伊さん) JO3VWR「ハグレドリ」	JL8XVX「ワンピース」 JH6LWO「NEXT」 VE7JSM JP1OTY「夷隅」 JM7ALZ「ブラックパール」 JF6CRQ 本船(岡本さん) JA3OGY「シンフォニー」 近藤さん
海外局	KH6CH VK4CNP VK4AES KF5TF W6ZEN VK4FJPR DU8EE(ミンダナオ島)エドワードさん FK1TK(ニューカレドニア)ヘンリーさん W8PW		
陸上局	JK1GFQ JR1XRS JA1FNG/ 2 JD1BBH JA1TKA JR1XRS JE1PED JI1XVV JA1HHL JF1QEQ JH1LSA (JH2UZB よりコールサイン変更) JR2IEQ JH2OYY JS2WKZ JF3TZB JA3FAT JH3IXZ JA3OGY JI5QNS JA6CKT JA6ARM JM6DVC JA6PLM JA6UCB JA8EGS JA8MQT JH8DGE JA8WBX JH8XIX JH8XIZ		

2012, 7, 24 タカさんご夫妻、新大阪訪問 沢山の3エリアの方々とアイボール
2012, 12, 19 Erik さんタスマニアに行っている間に自宅のアンテナに落雷無線機、
コンピューター系統に大きな被害

2013 年

MM局	JO3TNJ 「サザンクロス」	JM3WAL 「マンタⅡ」	JH6LWO 「NEXT」		
	JA3OGY 「シンフォニー」	JS3VYW 「エミュー」	JP1OTY 「夷隅」		
	JL8XVX 「ワンピース」	JI5HSN 「マナティ」	JK8LCV 「シーガル」		
	JA8MQT 「ミルキーウェイ」	JH8VUU 「エトピリカ」	JA6UCB 「悠々」		
	JM1INJ 「ドルチェ」	JA8EGS 「勸進丸」			
	PA/KB6GZ カリフォルニア	ボラボラ	トンガ		
海外局	VK4AES	VK4CNP	KH6CH	KF5TF	VK4GX
	VK3HKV (メルボルン KEN)		WB6MBA (サクラメント)		
	VK4FNQT (タンシル ジョン)		KN6RJ (ロスアンジェルス 坂本)		
	NL7R (アラスカ デニッシュ)		VK4FMAG (NICK)		
陸上局	JK1GFQ	JH1LSA	JA1TKA	JD1BBH	JA1HHL
	JG1PED	JF1QEQ	JI1XVV	JM1LVN	JA1FNG/2
	JR1XRS	JH1EXT	JA1CG	JA1VMW	JM1XBI
	JR2IEQ	JS2WKZ	JA3FAT	JH3IXZ	JF3TZB
	JA3OGY	JI5QNS	JA6CKT	JJ6WZS	JA6ARM
	JA6UCB	JA8EGS	JA8MQT	JH8DGE	JH8XIX
	JH8XIZ				

2014 年

MM局	WH7EP 「コンパース」		JI1BDY 「ツヨタカ」		JR4PWK 「MIROKU」
	JM1INJ 「ドルチェ」		JM3WAL 「マンタⅡ」		JA8MQT 「ミルキーウェイ」
	JH8VUU 「エトピリカ」		JK8LCV 「シーガル」		JH1GII 「モテサク」
	JR8YJO 「マイウェイ」				
海外局	VK4AES	VK4CNP	KH6CH	KF5TF	W6ZEN
	DV2NAH	YC9WIC	(パプアニューギニア)		KB4PTB (オレゴン)
	VK2FJPR				
陸上局	JK1GFQ	JH1LSA	JA1TKA	JG1PED	JA1HHI
	JH1EXT	JM1LVN	JD1BBH	JH1FRR	JA1FNG/2
	JF1QEQ	JF1TET	JH1GII	JD1BOX	(フランス人 ペデション)
	JR2IEQ	JS2WKZ	JA3FAT	JH3IXZ	JF3TZB
	JI5QNS	JA6CKT	JA6ARM	JA6UCB	JH6FUP
	JA8EGS	JA8WBX	JH8XIX	JH8XIZ	JA0OZZ

2014, 9, 5 Erik さん毎日放射線治療 11 月 12 月 時折ベッドの上からコントロールを手伝って下さる。

5 年間でチェックインのヨットが次第に少なくなり、長距離航海のヨットは数隻と言う状況になりました。MM局は先に長距離航海のヨットを記載しております。
陸上局はエリア順に記載しております。

長い記録になりますので 2015 年以降は NO17 として掲載します。

[＜戻る＞](#)

No.17 5代目コントローラーとしての記録 (2015 ～)

2015 年

MM局 JQ2UHZ「エオリア」 JI1BDY「ツヨタカ」 JR8YJO「マイウェイ」
JA8MQT「ミルキーウェイ」 JO2GRM「カリプソ」 JK8LCV「シーガル」
JH1GII「ツルギ」 JF1XUP「ミサゴ」 JA7ALZ「ネプチューン」
JH1NPQ「REGULUS」

海外局 VK4AES KH6CH VK4CNP BV2NAH W6ZEN VK4FNQT
AH0J (デニアン、ヨシヌマさん JA1NVF) HL5ZEE (テグ マーク)
HL1OXB (ソウル LEE) KA5PNX (ネブラスカ マイク) BV2NAH

陸上局 JD1BBH JH1LSA JA1TKA JM1LVN JH1EXT JA1FNG/2 JI1XVV
JF1ICP JF1QEQ JE1DUO (5/17 参加) JH1NPQ (5/20 参加)
JG1TRT (10/29 参加) 7L3OWV JA1GQL (10/17 JG1PED より変更)
JR2IEQ JF3TZB JH3IXZ JO3SLK (7/16 参加 グレイグ)
JQ3MDX JI5QNS JA6CKT JA6ARM JA6UCB JH6GZK (5/15 参加)
JA8EGS JH8XIX JH8XIZ

3 月 14 日 Erik さん逝去

5 月 12 日 ケネスさん逝去(JL1IYY/mm ヨーコさんの御主人)

2016 年

MM局 JI1BDY「ツヨタカ」 JQ2UHZ「エオリア」 JI1PDS&JI1QBR「エクセプトワン」
JA3OGY「ポカポカ」 JE4ADM「カモメ」 JA8MQT「ミルキーウェイ」
JH5GYN「かいめい」 リサーチ船 JA1LBN「アカツキ」 JI1QEX「ツルギ」
JK8LCV「シーガル」 JM1INJ「ドルチェ」 JR1MMK「バッカニア」
JH8VUU「エトピリカ」

海外局 KH6CH VK4CNP VK4GX VK3HKV VK4FNQT VK3NUC (メルボルン)
KA5PNX (ネブラスカ マイク) DU1/JA3FJE (マニラ 稲原さん 7/11)

陸上局 JD1BBH JA1TKA JA1GQL JH1EXT JH1LSA JE1DUO JA1FNG/2
JK1GFQ JG1TRT JE1RXJ (6/1 参加) JI1BUP (6/12 参加) JM1LVN
JA1WQD JI1XVV JM1XBI JF1QEQ JA1FXH (7/18 参加) JR1MMK
JQ2MRX (2/13 参加) JR2IEQ JR2QEE JH3IXZ JA3FAT JO3SLK
JR3HXN (12/2 参加) JI5QNS JA6ARM JA6CKT JH6GZK JA6UCB
JH8XIX JH8XIZ

2015 年～2016 年にかけて新しいメンバーがたくさん増えました。
長距離航海のヨットは 3 艇くらいです。

2017 年

MM局 JI1PDS&JI1QBR「エクセプトワン」 JI1HJP&JI1GII「ベルベットムーン」
JR1MMK「バックニア」 JI1DUU「酒呑童子」 JA5GWG「ハナマル」
JK8LCV「シーガル」 7K1SXE「カンタカ」

海外局 KH6CH VK4GX VK4ZX (ロブ) DU1IST (マニラ フジワラさん)
ZL3JAS VK4FNQT

陸上局 JE1RXJ JH1LSA JA1TKA JA1GQL JE1DUO JD1BBH JI1BUP JH1EXT
JA1FXH JG1TRT JH1GII JM1LVN JF1QEQ JJ1OAS JA7LNX/1 (5/20 参加)
JR1MMK JM1XBI JE1KDM (6/5 参加) JK1LVQ JR2IEQ JK2ISR (6/30 参加)
JQ2MRX JH3IXZ JO3SLK JA3FAT JR3HXN JP3QEH (6/10 参加)
JN1RVM/3 (名幸さん知人) JP3BNQ (6/11 参加) JG4BJR (7/6 参加) JA6ARM
JA6CKT JH6GZK JH8XIX JH8XIZ

4 月 25 日 オーストラリア・ニュージーランド戦争記念日 VK4GX が AX4GX コールサインで参加
1 月 13 日 JP1OTY 「夷隅」 吉原さん逝去
6 月 18 日 JH3IXZ (名幸さん) KH6CH (タカさん)最後のオンエア ネットの様子を録音する。
6 月 25 日 JH3IXZ 名幸さんとの最後の交信 (59 のシグナル)
10 月 24 日 KH6CH タカさん亡くなられた知らせ 6 月 18 日の交信が最後となる。
(弟さんの介護のためオンエアの時間が取れなかった。タカさん自身も癌だったとの事)
ネット内の何人か上級ライセンスに挑戦する。

2018 年

MM局 JH1HJP「ベルベットムーン」 JR1MMK「バックニア」 7K1SXE「カンタカ」
JQ2MRX「コスモス」 JI1DUU「酒呑童子」 JI1BUP「パティオ2」
JK8LCV「シーガル」 JK2ISR「ゴスフォーク」 JA3OGY「ポカポカ」
JA8MQT「ミルクィウェイ」 JI1QEX「ツルギ」

海外局 VK4GX DU1/JA3FJE

陸上局 JA1TKA JE1DUO JD1BBH JE1KDM JI1BUP JH1LSA JE1RXJ JA1FXH
JI1KXL JA1GQL JG1TRT JH1EXT JH1NOB (5/6 参加) JM1XBI
JK1LDQ (5/16 参加) JE1GEE JR1MMK JH1GII JA1IQX (7/2 参加) JR2IEQ
JK2ISR JS2BQN (6/30 参加) JQ2MRX JH2DHN (5/20 参加) JA3FAT JP3QEH
JO3SLK JP3BNY JR3HXN JG4BJR JA6ARM JA6CKT JH6GZK
JE7USS (6/23 参加) JM8LNS (5/11 JK1GFQ より変更) JH8XIX JH8XIZ

私がシーガルネットのコントローラーを引き受けるにあたって 3 つの目標がありました。

- 1、シーガルネットの 35 年の集いを開催する事、
- 2、タカさんをサポートネットにお誘いしたことにより最後までお付き合い頂こうと思った事
- 3、ネットコントローラーとしての期限を 10 年と決めていたこと

3 つの目標をすべて果たしたのでシーガルネットの周波数を移動することになった 9 月 1 日をもって
シーガルネットのコントローラーを引退いたしました。 2018 年 9 月 1 日より 2019 年 5 月 8 日迄 QRT
2019 年 5 月 9 日 21, 437MHz に移動したシーガルネットを久しぶりにワッチしましたが鹿児島と他
のエリアの伝搬状況が芳しくなくネットの流れがスムーズに行かないようでしたので、しばらくコント
ローラー村山さん (JH6GZK) のお手伝いをする事にしました。

2019. 5. 9 ～ 2019. 11. 5迄の記録

MM局 JK8LCV 「シーガル」 7K1SXE 「カンタカ」

海外局 VK4GX DU1/JA3FJE=DU1AI

陸上局 JE1KDM JA1TKA JE1DUO JI1BUP JD1BBH JH1LSA JA1FXH JE1RXJ
JH1EXT JF1TJD (5/16 参加) JG1TRT JA7LNX/1 JE1GEE 7K1SXE
JN1WZP (6/1 参加) JH1NOB JR2IEQ JH2DHN JK2ISR JL2OES (5/16 参加)
JS2BQN JQ2MRX JP2XQW (8/6 参加) JA3FAT JL3YOL (6/8 参加) JP3QEH
JO3SLK JR3HXN JA3OGY JG4BJR JO4IED (6/10 参加) JO4JXO (8/20 参加)
JH6GZK JA6CKT JA6ARM JE7USS JH8XIX JH8XIZ

長距離航海のヨットの参加は全く無く、海外局もタカさん、エリックさん、ノームさんがネットを去られてからは飛び入りの呼びかけは無くブリスベンの小原さん（VK4GX）マニラの稲原さん（DU1AI）のお二人のみになりました。

2019 年 6 月 30 日 3 代目コントローラー 久津見先生のお通夜、スネターズグループの 5 名と私で供花を送り、シーガルネット、オケラネットの名で弔電を送りました。

2020. 5. 1 ～ 2020. 8. 31 迄の記録

MM局 JQ2MRX 「コスモス」 JE6XAM 「風麗」 JA3OGY {ポカポカ}
JN3DYS 「ヨジマル」 JH1GIJ 「ウッドペック 5」 JI4GHD 「チャレンジャー」
JK8LCV 「シーガル」 JA8MQT 「ミルキーウェイ」 JL3YOL 「ウイズ オブ オズ」
海外局 VK4GX DU1AI

陸上局 JD1BBH JA1FXH JE1KDM JE1DUO JE1RXJ JA1TKA JI1BUP JH1EXT
JN1WZP 7K1SXE JA6ACX/1 (5/3 参加) JA7LNX/1 JM1LVN JP2XQW JS2WKZ
JL2OES JK2ISR JR2IEQ JQ2MRX JH2DHN JS2BQN JA3FAT JL3YOL
JG4BJR JO4IED JF4GRK (JO4JXO より変更) JI5QNS JA6CKT JH6GZK
JA6ARM JM8LNS JH8XIX JH8XIZ JS2DST

シーガルネットの始まりと私が 5 代目のコントローラーをお引き受けしてからの記録はきちんと取っているので詳しく述べる事が出来ますが、3 代目のコントローラー、4 代目のコントローラーの時、私は単なるネットメンバーの一員として 1 週間に 1 度ほどの割で朝のご挨拶を送るのみで何の記録も取っていません。初代会長の笠井さんにお聞きしたり、15 周年、20 周年、30 年の集いの時の記念誌に載せられた、それぞれの会長の挨拶文の中から当時のネットの活躍振りがうかがえます。特にシーガル号が帰港してからシーガルネット 15 周年の集いが行われる迄の 14 年間は私にとって全く空白状態です。もし、詳しい情報を持っている方、特定のヨットについて説明したいと思われる方がいるようでしたら私の記録が終わった後、追記という形でそれぞれが原稿を寄せられるのも面白いかと思います。

[<戻る>](#)

No.18 私の記憶に残るヨット（追加分）

シーガルネットも40年あ C:\Users\jvalid\Downloads\シーガルあれこれ No.3.docx まりの歳月が流れ、実に沢山のヨットがチェックインして下さいました。 No.14 で「35年の記念祝賀会に参加された長距離航海のヨット」を紹介しましたが九津見先生、西村さんのコントローラーの時代にもヨットが沢山ネットに参加しておりました。又、私自身お会いしたヨットも沢山ありました。私の記憶に残るヨットを No.14 に追加して紹介します。

＊ JJ1SDT 「スピリットオブユーコー」 白石康次郎さん

御存知のように世界最年少で無寄港世界一周を成し遂げた方です。又、世界的なヨットレースにも参加しており、今では海洋冒険家としてたびたびテレビでお顔を拝見しております。

オケラネットの始まりの多田雄幸さんに師事しヨットについて学んだことからヨット名を「スピリットオブユーコー」と名付け、今でも多田雄幸さんの精神を大切にされています。私自身はお父様の白石鉦造さんと親しくさせて頂き、鎌倉のお宅を訪問させて頂いた時、康次郎さんが駅まで送って下さいましたが、折り目のきちんとした青年とお見受けしました。（その時はまだ独身でした。）

シーガルネット15周年の集いの時、白石康次郎さんの講演が予定されていましたが悪天候のため東京、千歳間の飛行機が飛ばず残念ながら講演をお聞きすることが出来ませんでした。今でもシーガルネットの集いのたび記念誌に心のこもったご挨拶を頂いております。

＊ JR3JJE 「マーメイド」 堀江謙一さん

昭和37年(1962年)僅か6m足らずのヨットで太平洋を単独横断、世界的な話題になった方です。私が初めて堀江さんと言葉を交わしたのは父島から大阪までの松下電器のソーラーエネルギーによるボートのテスト航海の時でした。ボート名は「シクリナーク」エスキモー語で太陽という意味とか・・・

2,8メートルの小型ヨットで太平洋横断中、ヨット「ロデオ」の花泉さんとシーガルネットのサポート局の見守る中、海上でのドッキングした話などは皆さんの心に強く残っているようです。

小型ヨットによる西回り単独無寄港世界一周、4年掛けて初の縦回り世界一周、足こぎボート、ソーラーボート、リサイクルボート・・・いろいろな挑戦をされていました。

1999年、夫が退職して直ぐに桜前線を追いかけて南から50日間に亘る車での日本縦断を試みましたが、その折、堀江さんのお宅にも立ち寄らせて頂きました。大阪方面は不案内だったので「エミュー」の米子さんに道案内をお願いしました。堀江さんはテーマを持ったボートでの航海中、奥様のご厚意で堀江さんのプライベートなヨット「マーメイド」にも乗船させて頂きました。今年の年賀状を拝見しますとお元気でヨットを楽しんでいらっしゃるようです。

＊ JM2UAN 「ボヘミアン」 渡辺起世さん

かなり変わり種のヨットマンです。人生 3 分の 1 働けば良いをモットーに寝食を忘れ猛烈に働いたようです。会社を興し順調に軌道に乗っている 45 歳の時社長の職を降り、ヨットで世界一周に旅立ちました。根っからのヨットマンでは無かったので勉強しなければ成らないことはたくさん有ったとか・・・操船技術を学び、航海術の本を読み、更に各種の無線のライセンスを取得、英会話、電子機器の勉強・・・40 の手習いはかなりきつかったそうです

1990, 6, 4 名鉄西浦マリーナ出航、ハワイ、ロサンゼルス、メキシコ、パナマ、カリブ海、ドミニカ、プエルトリコ、バーミューダー諸島、アゾレス諸島、スペイン、コルシカ島、イタリア、ギリシャ、スーダン、エチオピア、イエメン、スリランカ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、台湾を経て 1992, 5, 31, 名鉄西浦マリーナに帰港、約 2 年掛けての世界一周でした。

「酒と笑顔はパスポート」を一つの信条に沢山の人達と心を通わせる航海だったようです。

夫の退職後、約 2 週間掛けて西安、敦煌、烏魯木齊を回りましたが、その帰路名古屋で渡辺ご夫妻にお会いしました。碧南ヨットクラブのメンバーも加わり楽しい一時を過ごさせて頂きました。

＊ JF1AUM 「ドンタク」 檜崎久光さん

長距離航海のヨットマンではありませんが注目すべきヨットマンのお一人です。何度も日本一周を繰り返し、日本の港については一番よく知っている方です。日本は御存知の様に漁業の盛んな国です。沿岸部はあちこちに魚網が張られ、養殖等の設備も設置されているので港への出入りはかなり慎重にやらなければ成りません。又、何度も日本中を回っているの港、港に沢山の知人が出来「ドンタク」がやってくるのを待ちかねていたようです。檜崎さんに心酔している方が 2018 年「ドンタクネット」を立ち上げました。約 2 年経過しましたが今ではかなり定着してきているようです。

過去にシーガルネットの記念の集いが 4 度行われましたがその全てに参加されています。シーガルネットを大事にして下さった方のお一人です。我が家にも 2 度ほどお見えになりました。私達夫婦と魚談義をしたことがあります。北に住んでいるので寒流系の魚の味に馴染んでいる私達はあじの干物はさほど美味しいとは思えないと話したら、そんなはずはないと沼津からわざわざあじの干物を送って下さいました。確かに美味しかったです。安全に流通経路に乗せるため、常に冷凍、そして解凍した物を口にしていたので本当の味を知らなかったのですね。

＊ JH2PTR 「巴流」 内海勝利さん

内海さんとの出会いはアカプルコ付近でエンジントラブルを起こした内海さんが、丁度無線に出ていた夫（JH8XIX）に声を掛けてきたのが始まりでした。一律の軌道に乗った日本の教育とは又異なった子供の個性を重んじる教育があっても良いのでは無いかと家族 4 人、ヨットで海外に渡ることを目的とした航海でした。夫とコンタクトした時は既に奥様、お子さんはアメリカに置いて一人での航海だったと思います。夫とは気が合い、子どもの教育論で話が弾んでいたようです。

静岡に娘が嫁いでおり、静岡を訪れた折り清水まで足を伸ばして内海さんご夫妻とお会いしました。「ヨットマンにとって来客への最高のおもてなしは自分のヨットに乗せることです。」とおっしゃって冬の駿河湾をクルージングして下さいました。海から眺めた冬の富士山は素晴らしかったです。何よりもその気遣いが心に沁みました。ヨットスクールを開いており子ども達の練習船「海童」の方も見せて下さいました。子ども達には単に技術的なものだけでなく、その精神も大切との話で礼儀作法、物を大切にする心などにも触れていたようです。ヨットは子ども達の手できちんと手入れが行き届いていました。精神面、技術面の伴った沢山のヨットマンが巣立っていくでしょうね。

＊ J A 3 M Y K 「コラーサ」 鹿島郁夫さん

昭和 39 年（1964）～昭和 40 年（1965） 6, 8 メートルのヨットで日本人として初めて単独大西洋横断に成功、続いて昭和 42 年（1967）単独太平洋横断にも成功、日本ヨット界の先駆者のお一人です。 1999 年、夫の退職を機に車で日本縦断を試みました。その帰路 4 月 8 日、淡輪ヨットハーバーにも立ち寄らせて頂きました。鹿島さんのご厚意で建造中の次の航海予定の「コラーサ 70」を拝見させて頂きましたが内部は居住空間も広く快適に過ごせそうな感じでした。心から無事安全な航海を願いました。

その後のシーガルネットのサポートの記録に依りますと 1999 年 7 月 20 日、無寄港世界一周の予定で出港したコラーサはホーン岬の手前でブームを折ると言う重大事故に遭いながら 2000 年 7 月 7 日、352 日ぶりに無事母港である淡輪マリーナに帰着されました。70 歳にしての大きな偉業だったと思います。淡輪ヨットハーバーでは JQ3CIR 吉田さんに大変お世話になりました。

＊ J S 3 X G O 「ホープⅡ」 藤村正人さん

5 年掛け手作りのヨットを完成、1991 年 5 月、結婚したその日に世界一周クルージングに旅立ったが、わずか 3 日目に係留中の艇が沈んでしまうアクシデント、（係留した下に沈船があり、船を離れた時、運悪く干潮になり、沈船と接触してしまった為の事故）、ご夫婦で艇を修理、整備して 1 ヶ月後にハワイ向け再出発、ハワイには無事到着したが奥様の懐妊が解り、その後は藤村さん一人での世界一周となりました。南太平洋、ニュージーランド、インド洋、スエズ運河、地中海、フランス、ジブラルタル海峡、大西洋、カリブ海、パナマ、太平洋、フレンチポリネシア、タヒチ、沖縄（1997 年 5 月、糸満にて航海を終える。6 年に亘る長期航海だった。）

北海道の獣医学校で獣医師の免許を取り北海道の日高牧場で馬の医師として働いていたこともあり北海道に住む私に取っては親近感があって、航海中良くお話しさせて頂きました。

「ホープⅡ」の航海の様子は航海中、寄港先から原稿を送る形で「クルージングワールド誌」、「K A Z I」に掲載されました。普通の航海記と異なり 6 年掛けて回った世界で感じた事、ふれあった沢山の人々、美しい景色…この頃は「ホープⅡ」の航海記を見るため毎月「K A Z I」を購入していました。

シーガルネットの 35 年の集いにお誘いしましたが、今では犬、猫等小動物の獣医で命を預かる仕事のため簡単に留守にすることは出来ないと残念がっていらっしやいました。

北海道 オホーツク海に面する網走でお会いしたヨットが何艇か有ります。

＊ J F 1 A U M 「ドンタク」 檜崎久光さん

生まれて初めてヨットたる物に乗船させて頂きました。岸壁に係留する時に二つの方法があるそうです。一つは直角に係留（先付けとか、槍付けと言っていました。）もう一つは平行に係留する方法（横付け）この時は直角の係留だったので岸壁とヨットの舳先の間が約 1 メートル程有り飛び越えるのがかなり怖かったです。

＊ J A 6 U C B 「悠悠」 今井精二さん

こちらに乗船させて頂きました。要領よく横付けになっている船にお願いして、その船に繋ぐ形で係留しておりましたので乗船しやすかったです、大きな船、もう一つ船があったような気がします、そして今井さんのヨットでした。

＊ VE0KRP 「シルク・パース」 Kirk さん、カナダ

2013, 7, 23 網走入港 岸壁とヨットの高さが相当違い上がり降りに苦勞・・・地元の人から木製のはしごをプレゼンとされていました。満潮、干潮の時の差でしょうね。檜崎さんの時は同じような高さだったような気がします。簡単な英語を交えて楽しい一時でした。

＊ JI1BDY 「TSUYOTAKA」 古賀道明さん

Kirk さんとお話ししている時に入港したヨットが有りました。ヨット名は「ツヨタカ」後に長距離航海に出られた古賀さんとの思いがけない出合いでした。ヨット名の由来をお聞きしましたら 2 人の息子さん、ツヨシさん、タカシさんから取って名付けたそうです。「風強し、波高し」にならなければ良いのですがと笑っていました。2015, 5, 21 富士宮羽衣マリーナ出航 サンフランシスコ、帰路、ハワイ、タカさん宅訪問、2016, 5, 10 帰港 約 1 年掛けての太平洋横断、往復航海でした。沢山の出会いがあったご様子です。

＊ JA8MQT 「ミルキーウェイ V」 役田徹さん

役田さんと数人の方達でした。ミルキーウェイチームとでも言いましょうか 古くからまとまったチームでクルージングを楽しんで居るようです。北海道のヨットとしては長い歴史を持っているのでは無いかと思います。

＊ 「RYO」 塗茂哲治さんと JH8IZH 野村輝之さん 35 年祝賀会の後、時計回りで北海道一週

2009, コントローラーを引き受けてから現在に至るまでの長期航海のヨットを挙げてみます。

- | | |
|------------------------------|---------------------------------------|
| ＊SM6UTO 「LIVA」 2009,2010 | ＊JK8LCV 「シーガル」 2009, 2010, 2011, 2012 |
| ＊JR2HFY 「景虎」 2010,2011,2012 | ＊JH6LWO 「NEXT」 2010, 2011, 2012, 2013 |
| ＊JA1DMJ 「ヌック」 2010,2011 | ＊JM1INJ 「ドルチェ」 2011,2012,2013,2014 |
| ＊JM3WAL 「マンタ」 2012,2013,2014 | ＊JQ2UHZ 「エオリア」 2015,2016 |
| ＊JI1PDS 「エクセプトワン」 2016,2017 | ＊JI1HJP 「ベルベットムーン」 2017, 2018 |
- 後ろの日付はチェックインした年です。

[<戻る>](#)

No.19 アマチュア無線とヨット

1980年の暮れにアマチュア無線を開局し、僅か1ヶ月くらいのところでシーガル号と出会いました。もし、この出会いが無ければ私のHAMライフは全く違った方向に展開していたと思います。

それまでヨットに抱いていたイメージは一般庶民には手の届かない特別なものと位置づけていました。青い海原に白い帆のヨットが浮かんでいる様子は絵のようであり、現実とは結びつきません。まさか自分の人生が40年もヨットの世界と関わりを持つ事になるとは想像もしておりませんでした。

いざ、ヨットのサポートに関わってみますと、夢どころか非常に現実味を帯びた世界です。ヨットマンを大きく分けて二つのタイプがあります。一つは様々な記録に挑戦するタイプ（ヨットレース、無寄港、世界一周〔東回り、西回り〕、更に難度の高いホーン岬、ケープタウンをクリアするコース、最年少、最高齢・・・）もう一つのタイプは時間を気にせず、のんびり世界中を訪れ沢山の人達との交流や経験を目的とするタイプ・・・私のお相手頂いたヨットの中で最も長い6年がかりで世界を回ったヨットは7L4SVH「オーロラ」の森脇さんでした。

私自身オケラネットのお手伝いをしていた期間があります。年老いた両親の介護のためお昼の時間を割く事が難しくなった時ネットを離れましたが・・・季節による変化でオケラネットの伝搬状態が下がりヨットとの交信が難しくなった時の事です。森脇さんに朝のシーガルネットもワッチするように薦めました。森脇さんは「えっ、二つのネットに参加しても良いのですか?」と言う質問です。「シーガルネットもオケラネットも共に航海するヨットの安全を願ってのネットです。時間帯が異なるとコンディションが変わって日本と繋がる確率は大きいと思います。是非どうぞ・・・」と薦めました。この頃、シーガルネット、オケラネットは全く別な物で二つのネットに参加することはエチケットに反すると言った感覚の人も結構居たようです。

今ではごく当然のように二つのネットに参加するようになりました。私がコントローラーを努めてからの10年、毎日のようにJD1BBH、父島の山田和子さんがシーガルネットの方にも声を掛けて下さいました。この頃から二つのネットは一つという感覚が更に進んだと思います。

オケラネットについては発足当初から関わったJA1TKA 小谷武福さんが御自分のブログの中に詳しく説明しておりますが（「皆空の中で オケラネットのはじまり」を検索）ここでも簡単に述べさせて頂きます。

1975年、沖縄海洋博覧会に合わせ「太平洋横断ヨットレース」が行われました。これに参加すべく多田雄幸さんが「オケラⅢ世」をサンフランシスコに回航する時、それをサポートしたのが始まりです。この頃のコントローラーはJA1DVB 平林さんとおっしゃる方でした。「オケラⅢ世」をサポートするため平林さんが仕事から自宅に戻り昼食を済ませる時間が<12:20>それがオケラネットの始まる時間でした。それからおよそ45年経過した今も守られているのは驚異ですね。

この頃沢山のヨットが航海に挑戦し、その都度それを支援するネットが構成されましたが、航海が終わるとサポートネットも終わりというパターンが一般的でした。

JR3JJE 堀江謙一さんのネットがその代表的なものでした。堀江さんの航海が始まればそれを聞きつけた人が沢山集っていつの間にか大きなネットに成り、終われば跡形も無く消えていく蜃気楼のようなネットでした。でも、それが何度も繰り返されるといつの間にか沢山の繋がりが出来、良い人間関係が構成されたと思います。

ヨット「シクリナーク」の時は大阪の（明治会）の方々が中心になりサポートしていました。超OM局揃いなのでチェックインするのにかなり緊張しました。その後も航海の都度、大きなネットが構成され、そして終わっていきりましたが、私としては2、8メートルのヨット「マーメイド」の航海の時は1番楽しかったと思います。この時は大阪の朝日新聞のメンバーが中心になってヨットをサポートしていました。今でも時折、シーガルネット、オケラネットに声を掛けて下さるJA3OGY「ポカボカ」の近藤さんもそのお一人です。

良くお話しさせて頂いて印象深いのは **KL7YR** アラスカ大学の名誉教授、大竹武さんで、時折ネット終了後いろいろな話を聞かせて下さいました。南極、北極の気象関係が専門でオーロラの話、素人でも条件が合えばダイヤモンドダストを作り出せる話、夏の大雪山縦走の時、にわか雨の後、谷底に丸い虹を見た話をしましたらブロッキン現象でしょうと解説して下さいました。

南極の極点に近いアムンゼンスコットベースから 14 MHz で交信して頂いたのも良い思い出です。

もう一人強く印象に残っているのは **KD6IH** サンノゼにお住まいの **ZEN** さんです。海外で活躍される日本人で構成された（ジャネット）のコントローラーをされていた事も有ります。大変頭の回転の速い方で、雑学に詳しい方でした。線路の幅の話、調味料の話、話がどんどん広がって行き、話し出すと1時間はあっという間に過ぎてしまいました。印象深いのは **CQ** 誌に載せられた記事です。

ZEN さんが船で日本を離れる時、沢山の友人が埠頭に集まって下さいました。時は夕暮れ、ヘッドライトの点滅を **CW** の代わりに別れの挨拶を送って下さったとか・・・ 次第に暗闇が増す中何時までも光の点滅を見ながら別れを惜しんでいた話などアナログ時代のロマンでしょうね。

ZEN さんは私がコントローラーになった後も時折 **W6ZEN** のコールサインでシーガルネットにチェックインして下さいました。

KH6CH ハワイのタカさんの存在を知ったのもこのネットでした。皆さんの中に加わらず何時もネットの終わった後、堀江さんに短い挨拶を送っていました。この時点では1度もタカさんと言葉を交わしておりませんでした。私がオケラネットを手伝っている時どうしてもハワイからのサポートが必要になり電話を掛けてお手伝いを依頼しました。それがタカさんと **MM** ネットの深い関係に繋がっていく始まりと成りました。

もう一人の方は和子さんと私の友人で、21, 31.7 MHz で知り合った **DU1MRC** 坂本正彦さんとおっしゃる方です。当時はマニラに住んでいましたが、後にバーレンそしてアメリカのロスに住むようになりました。アメリカでのコールサインは **KN6RJ** この方にはオケラネットで大変お世話になりました。トラブルを抱え気になるヨットが出てきた時はアメリカのコーストガードに見守りを依頼して頂いたり、「アドバンテージ」の音信が途絶えた時はロス周辺の無線局にオケラネットをワッチするよう働き掛けて頂き大変心強い存在でした。**face book** で交流が続いていますが今では無線を離れオートバイの方に力が入っているようです。奥様はお医者さん、素敵なカップルです。

話をシーガルネットの方に戻します。2017年あたりから多くのヨットマンがシーガルネット、オケラネットが離れているのはチェックインしづらいので出来れば同じ周波数で運用し名称を「**ALL JA MM** ネット」としたら良いのでは無いかという話が出てきました。私としては10年をめぐりにコントローラーを降りるつもりでしたので若い方々に任せ、あえて異論は挟みませんでした。長年守り続けてきた周波数21, 38.2 MHz を終わらせることはシーガルネットにとって大きな区切りだったと思います。周波数を変更した2018年9月を一つのけじめとして私の方はコントローラーを降りました。

幸いなことに **JH6GZK** 鹿児島県の村山さんがコントローラーを引き受けて下さりシーガルネットの名前が継続されていることに感謝しております。その後しばらく **QRT** しましたが長年関わってきたシーガルネットのその後が気に掛かり2019年5月より北海道から電搬状況が良い時はお手伝いした方がネットの流れが良くなると判断し今に至っています。北海道からコンディションの良い期間は5月から8月まで、この間サブコントローラーとして、朝の7時には欠かさず無線機の前に坐りますがその他の期は私自身の生活に戻り断捨離に専念、時間の空いた時、時折ネットの方にも参加するつもりです。

[<戻る>](#)

No.20 あとがき

最近テレビで近い将来 65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症予備軍等という言葉が聞かれるようになりました。私自身充分に該当する年代に入ってきています。終活で身辺整理を心がけていますが、シーガルネットについて誰かが書き残さなければ全く記録が残らないことに気が付きました。

今なら記憶力、集中力、分からないことがあればお聞きできる方達も健在です。最初は切手の収集で使わない切手が沢山有るので自分で纏め、シーガルネットに関係のあった方達何人かに郵送する方法を考えていましたが、オケラネットのホームページの管理をなさっている「JA1IDQ」 沼田さんのご厚意でホームページの方に載せて頂けることになりました。私個人で仕事を進めた場合、忙しいから、疲れたから、気乗りがしなくなったから・・・ 幾らでも途中で止める口実は付きますが、一旦お願いして掲載する形になったものは途中で投げ出すわけにはいきません。集中力が途切れないように他のやりたいことは極力我慢しました。(ガーデニング、着物のリメイク、他に気に入ったものが出てくるとそちらに気持ちが分散してしまいます。) お陰様でやっと、終わりの段階を迎えホッとしているところです。

沼田さんは見やすいように整理して掲載して下さいました。相当お時間を取らせてしまったものと思います。又、書いた原稿を「JA1TKA」小谷さんと「JD1BBH」山田和子さんにチェックをお願いしました。小谷さんはオケラネットの始まりから関わっていた方ですし、和子さんも 40 年あまりヨットのサポートを続けて来た方です。何よりも夫「JH8XIX」には色々と支えて貰いました。写真の取り込み、添付して 3 人の方達に送る手続き、私の方は記憶を辿って文章を書くことは出来ましたがその後の細かな詰めが出来ません。又、オケラネットのホームページを見た方から聞かされる感想も励みになりました。沢山の方達の支えがあって無事「シーガルネットあれこれ」を纏めることが出来たことを感謝致します。

振り返ってみますとシーガルネット、オケラネット共にそれぞれ一艇のヨットをサポートするネットから始まり、長い年月の間に間口が広がって多くのヨット、サポート局を受け入れるネットに変貌を遂げた事は驚異に値すると思います。又、それぞれ、シーガルネット、オケラネットの呼称を守り続けてきたことにも感動します。歴代のネットの中核と成った方々のネットを続けたいと思う強い意志が現在まで繋がって来たのでしょうね。

私自身シーガルネットのコントローラーをさせて頂きましたがその基盤となるものはオケラネットで培われました。シーガルネットのみでしたらチェックインして挨拶を送るだけの立場でしたが、オケラネットではコントローラーに準ずる立場でお手伝いさせて頂きました。それによりコントローラーとしての気構え、又、沢山のヨット、サポート局と直接言葉を交わす機会を与えられた事により、ヨットの世界への人脈も広がりました。トラブルを起こしたヨットの救助のため直接関わることもありました。ハワイのタカさんはこの頃の私を知っているので西村さん亡き後、私にコントローラーになるよう推薦されたのだろーと思います。

昔は二つのサポートネットに実に多くの長距離航海のヨットがチェックインしていました。他に通信手段が無く、連絡事項、新しいニュース、他のヨットの動向・・・いろいろなことを知る唯一の窓口だったのだろーと思います。多い時には 6~7 艇のヨットがチェックインし、陸上サポート局にはマイクがほとんど回りませんでしたが皆さん辛抱強く待機して下さい、いざ必要が生じた時には色々専門的なアドバイス、トラブル解消の為沢山の方達が動いて下さいました。この頃はサポートネットとヨットが非常に近い関係にあったと思います。

私からヨットマンに申しあげたのは海上で寂しい時や心細い時、もし日本からの信号がとれなくても毎日、定時にはシーガルネット、オケラネットの方達が欠かさずネットをワッチして航海する方々の安全を願っていることを忘れないで下さいと申しあげました。せめて応援する気持ちだけは届けたいと思ったからです。

ここ数年、急速に長距離航海のヨットのチェックインが無くなってきています。昔のように世界に向けて挑戦するヨットが少なくなったのか、通信手段が発達して衛星電話、インターネット等の活用により、それほどサポートネットの必要性が無くなったのか分かりません。時代はアナログからデジタルへと急速な変化を遂げています。アマチュア無線の世界でも昔は沢山の方達と無線を通じて心を通わせた楽しい会話が出来ましたが、今では携帯電話でライン、インターネットでのチャットなどの方法で、もっと簡単に沢山の人達と交流できる時代に入ってきていると思います。(しかも、ライセンスの必要もありません。)

数年前からチェックインするヨットが少なくなって来てからのネットのあり方を考え、ネット内の交流にも目を向けるようにしました。コンディションの良い時は出来るだけメンバーをつなぎ合わせ紹介し直接会話のできる場を作るように心掛けました。今では和気あいあいの雰囲気ネットになってきていると思います。シーガルネット、オケラネット、そしてドンタクネットの良い交流が長く続くことを心より願っています。

終わりに「シーガルネットあれこれ」の作成に力を貸してくださった JA1IDQ、JA1TKA、JD1BBH 局、そして 6 代目のコントローラーを引き受けて下さった JH6GZK 局をご紹介して終わりにしたいと思います。

JA1IDQ 沼田嘉彦さん オケラネットのホームページを作成し、今では沢山の方達がこのページからいろいろな情報を得ています。ヨットの世界がより身近に感じられるようになったと思います。写真は 2015, 8, 2「東京 HAM フェア」でお会いした時の物です。



JA1TKA 小谷武福さん オケラネットの設立に始まり現在までサポートネットに関わっているのでサポート歴は 1 番長いと思います。又、機器に対しては専門的な知識をお持ちの方なので何かと心強い存在です。

JD1BBH 山田和子さん オケラネットのコントローラーを長い間勤められ、サポート界ではよく知られた存在です。頭の回転が早く的確なコントロールをされるので何時も感心しております。お二人についてはシーガルネット 35 年の集いの時の写真が沢山載っているのでここでの写真は省略致します。

JH6GZK 村山 浩さん シーガルネット第 6 代目のコントローラーとして御紹介致します。

コンディションの関係で鹿児島からとれない時もあるかと思いますが皆様の御協力宜しくお願い致します。

5 月から 8 月まで北海道から伝播状況の良い時は私の方もお手伝いとして参加致します。シーガルネットの歴史を形として残せたことにホッとしております。

長い間皆様のお力添え有り難う御座いました。

北の地より皆様のご健康と三つのネットの発展を心よりお祈り致します。

*長い間の出来事ですので、もし、私の記憶違いがありましたら遠慮無くご指摘下さい。

[<戻る>](#)



JH8XIX & JH8XIZ
(弟子屈のペンションにて)
Email: jh8xixiz@gmail.com